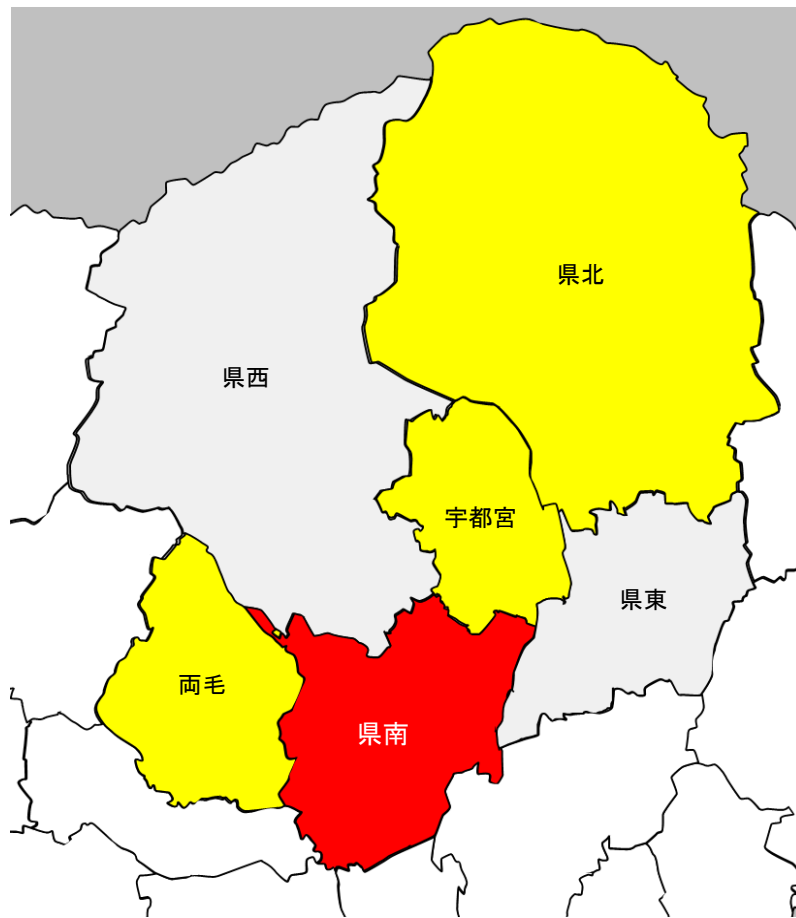


# 9. 栃木県

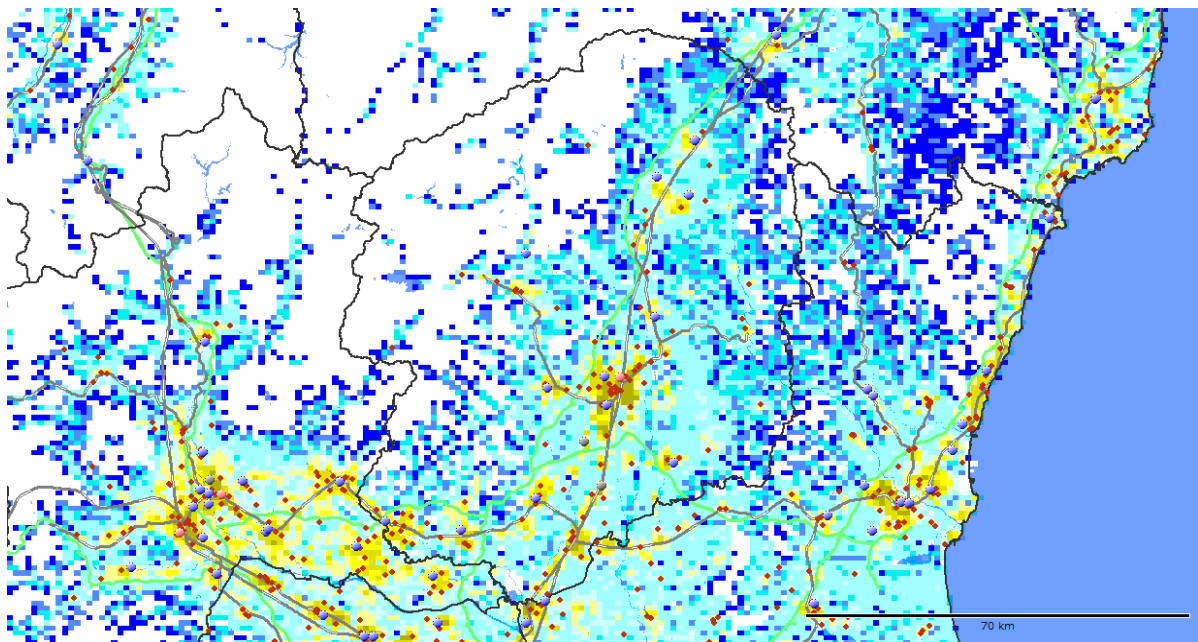


目次

栃木県	9 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料 .....	9 - 8
1. 県北医療圏 .....	9 - 20
2. 県西医療圏 .....	9 - 25
3. 県東医療圏 .....	9 - 30
4. 宇都宮医療圏 .....	9 - 35
5. 県南医療圏 .....	9 - 40
6. 両毛医療圏 .....	9 - 45

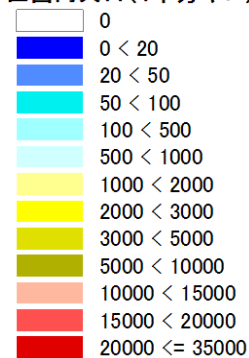
# 9. 栃木県

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS  
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



## (栃木県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 栃木県は、総人口約1,974千人(2015年)、面積6,408km<sup>2</sup>、人口密度は308人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 栃木県の総人口は2025年に1,873千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に1,647千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の240千人が、2025年にかけて320千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には341千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 栃木県の一人当たり医療費(国保)は327千円(偏差値44)、介護給付費は227千円(偏差値42)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 栃木県の一人当たり急性期医療密度指数は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数は0.85で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が48(病院医師数48、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 栃木県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、23,647人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が14,980床(偏差値51)、高齢者住宅等が8,667床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、19,432人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム41、軽費ホーム57、グループホーム44、サ高住55である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、2,319人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-34%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移

### 【人口と医療需要】

栃木県の総人口は、2005年2,016,631人が、2015年に1,974,255人と2%減少し、2025年の人口が1,872,842人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

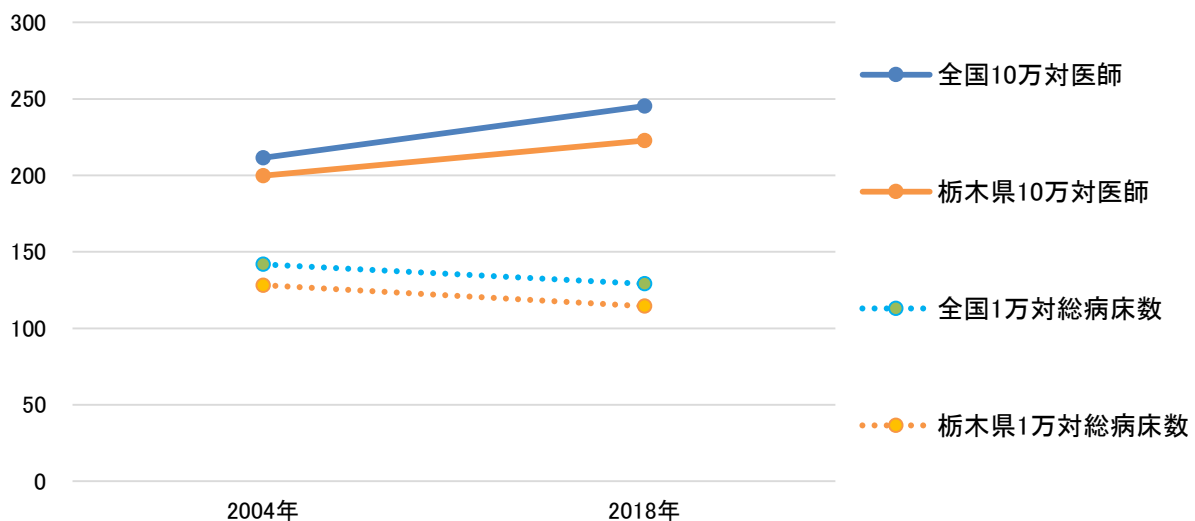
2004年の病院数が118(人口10万人当たり5.9病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2018年に106(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、14年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数が1,358(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2018年に1,458(人口10万人当たり74診療所(全国平均80)偏差値47)と、100診療所が増加した。

2004年の総病床数が25,855床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値48)であったが、2018年に22,605床(人口1万人当たり114(全国平均129)偏差値47)と、3,250床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

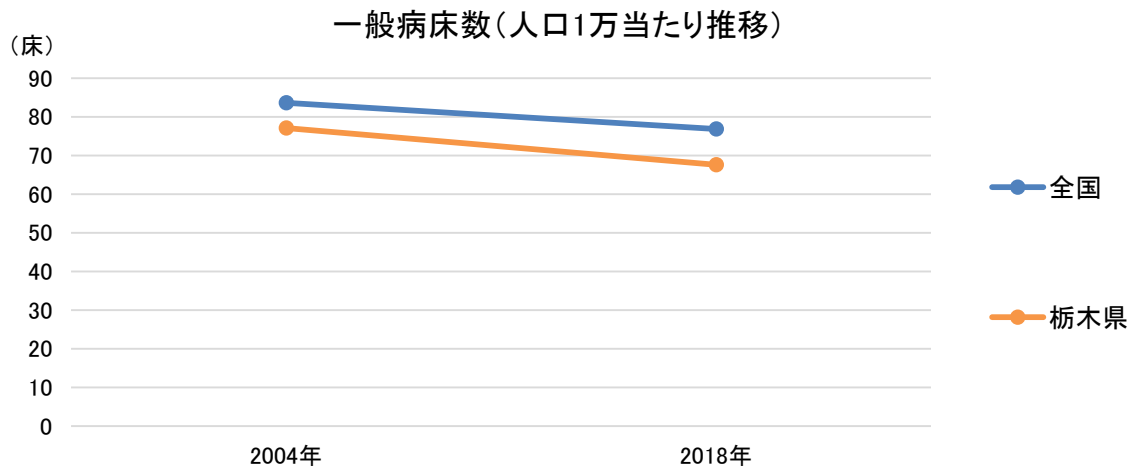
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が4,030人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2018年に4,400人(人口10万人当たり223人(全国平均245人)偏差値48)と、370人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



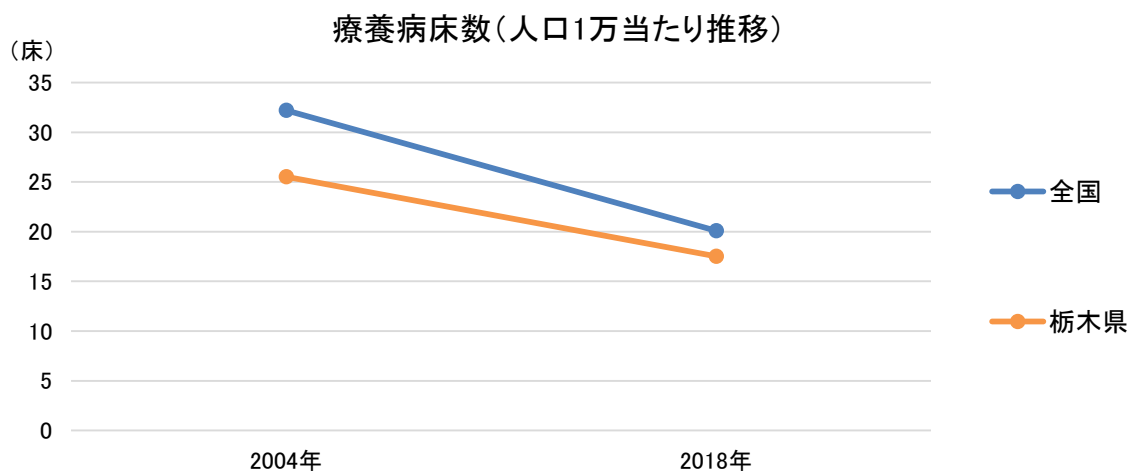
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15,549床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2018年に13,350床(人口1万人当たり68(全国平均77)偏差値46)と、2,199床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



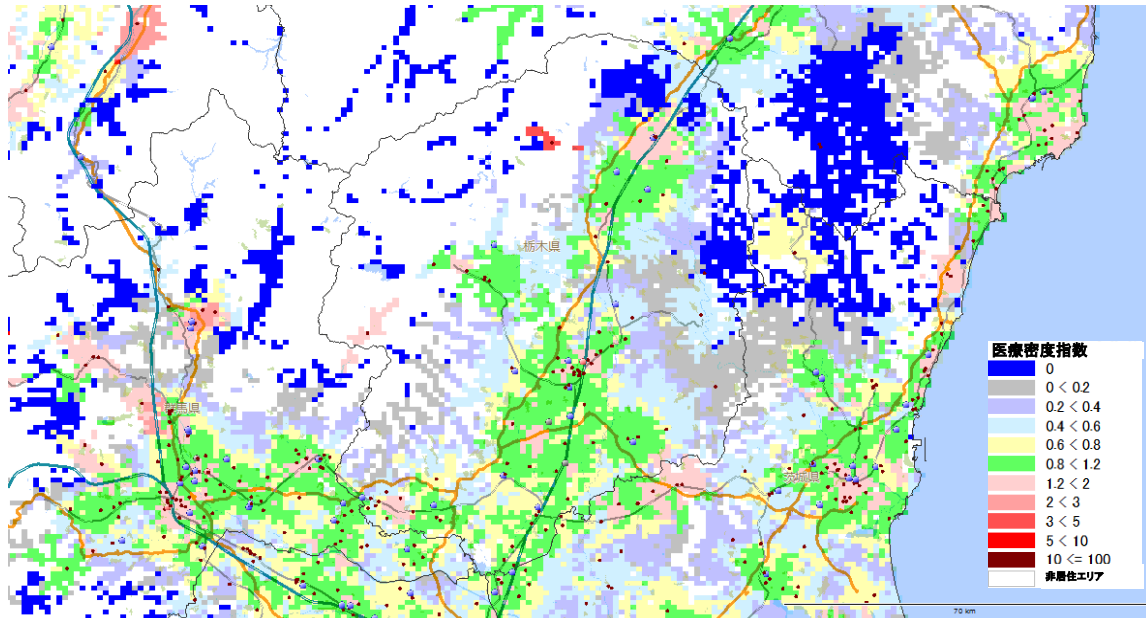
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4,690床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2018年に4,207床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、483床の減少、率にして10%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



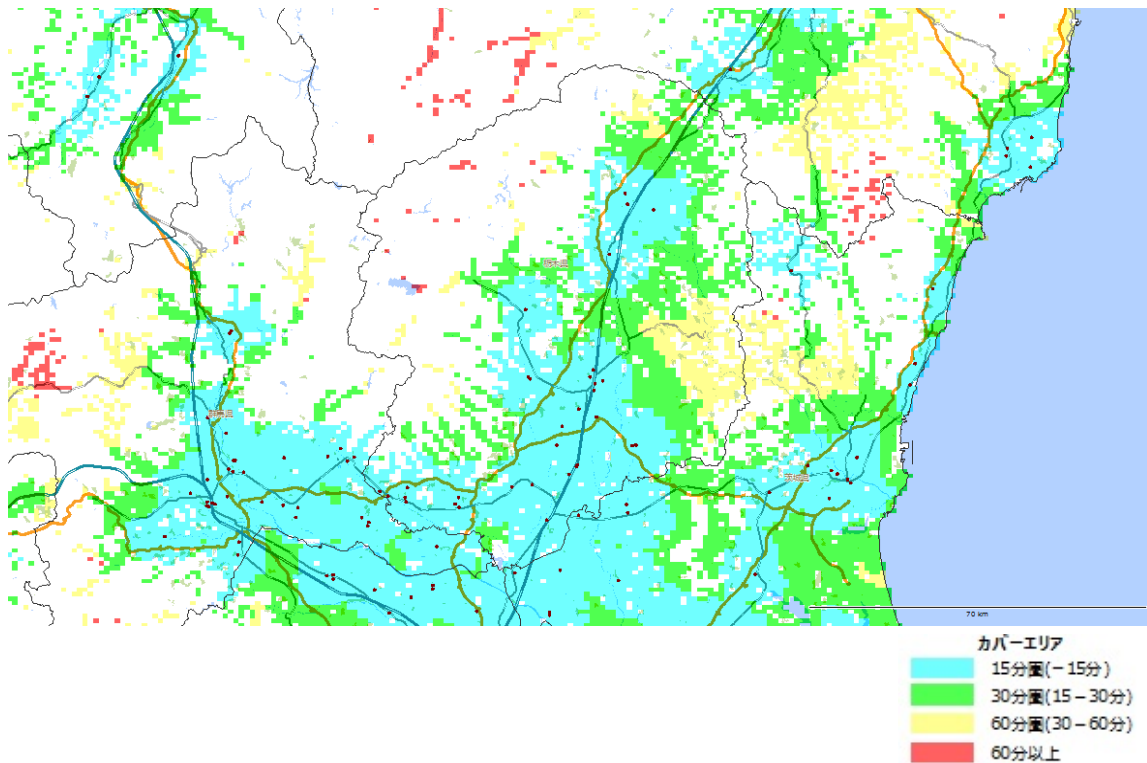
## (栃木県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400) )



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資\_図表 9-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
栃木県	1,974	18位	6,408	20位	308.1		26%	1,873	1,647	240	320	341	-5%	-12%	33%	7%
県北	381	19%	2,230	35%	170.8	地方都市型	27%	352	296	50	64	71	-8%	-16%	28%	11%
県西	182	9%	1,940	30%	93.7	過疎地域型	30%	160	126	27	32	33	-12%	-21%	19%	3%
県東	143	7%	564	9%	253.5	地方都市型	26%	128	104	18	23	26	-10%	-19%	28%	13%
宇都宮	519	26%	417	7%	1,244.1	地方都市型	23%	521	495	53	77	82	0%	-5%	45%	6%
県南	482	24%	724	11%	665.7	地方都市型	25%	464	417	55	76	83	-4%	-10%	38%	9%
両毛	268	14%	534	8%	502.8	地方都市型	29%	248	210	37	48	46	-7%	-15%	30%	-4%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資\_図表 9-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
栃木県	0.85	0.85	19,592	26,234	-33.9%
県北	0.75	0.79	3,859	5,189	-34.5%
県西	0.81	1.06	2,304	2,689	-16.7%
県東	0.88	0.55	1,373	1,892	-37.8%
宇都宮	0.84	0.91	4,321	6,544	-51.4%
県南	0.64	0.75	4,662	6,130	-31.5%
両毛	0.99	1.10	3,073	3,791	-23.4%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版) 序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375) ) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				



資\_図表 9-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
栃木県	327	44	0.920	121	44	0.876	184	46	0.960	227	42
県北	324	43	0.908	128	47	0.919	175	40	0.912	235	44
県西	339	46	0.935	133	48	0.936	185	46	0.945	223	41
県東	313	40	0.889	117	43	0.853	176	40	0.922	236	44
宇都宮	332	45	0.951	119	44	0.878	190	49	1.008	209	36
県南	329	44	0.920	116	43	0.833	191	49	0.991	230	43
両毛	323	43	0.895	119	44	0.849	181	44	0.931	240	46
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資\_図表 9-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
栃木県	822	41	0.875	387	42	0.820	410	45	0.945
県北	825	41	0.871	420	45	0.874	384	38	0.886
県西	893	47	0.943	451	48	0.941	418	47	0.962
県東	789	38	0.830	373	41	0.771	394	41	0.908
宇都宮	847	43	0.920	396	43	0.862	421	48	0.985
県南	787	38	0.843	341	37	0.728	420	48	0.973
両毛	800	39	0.846	358	39	0.756	414	46	0.946
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資\_図表 9-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
栃木県	106	1.3%	5.4	47	1,458	1.4%	74	47
県北	21	20%	5.5	47	227	16%	60	39
県西	11	10%	6.1	49	119	8%	65	42
県東	5	5%	3.5	42	101	7%	71	45
宇都宮	31	29%	6.0	48	432	30%	83	52
県南	22	21%	4.6	45	373	26%	77	48
両毛	16	15%	6.0	48	206	14%	77	48
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 9-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
栃木県	1,458	1.4%	74	47	1,345	1.4%	68	46	113	1.6%	5.7	50
県北	227	16%	60	39	208	15%	55	39	19	17%	5.0	49
県西	119	8%	65	42	106	8%	58	41	13	12%	7.2	53
県東	101	7%	71	45	92	7%	64	44	9	8%	6.3	51
宇都宮	432	30%	83	52	394	29%	76	51	38	34%	7.3	53
県南	373	26%	77	48	353	26%	73	49	20	18%	4.2	48
両毛	206	14%	77	48	192	14%	72	48	14	12%	5.2	50
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 9-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院+診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
栃木県	20,964	1.4%	1,062	47	1,641	1.7%	83	51	22,605	1.4%	1,145	47
県北	3,831	18%	1,006	46	297	18%	78	50	4,128	18%	1,084	46
県西	1,764	8%	971	45	203	12%	112	54	1,967	9%	1,082	46
県東	988	5%	691	39	143	9%	100	53	1,131	5%	791	41
宇都宮	6,275	30%	1,210	50	499	30%	96	52	6,774	30%	1,306	50
県南	5,157	25%	1,071	47	314	19%	65	49	5,471	24%	1,136	47
両毛	2,949	14%	1,099	48	185	11%	69	49	3,134	14%	1,168	48
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 9-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床数				療養病床数				精神病床数			
	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
栃木県	11,781	1.3%	597	45	4,135	1.3%	209	48	4,975	1.5%	252	50
県北	1,958	17%	514	42	796	19%	209	48	1,071	22%	281	51
県西	856	7%	471	40	454	11%	250	50	450	9%	248	49
県東	566	5%	396	36	181	4%	127	44	240	5%	168	46
宇都宮	2,963	25%	571	44	1,396	34%	269	51	1,880	38%	363	55
県南	3,760	32%	781	54	730	18%	152	45	660	13%	137	44
両毛	1,678	14%	625	47	578	14%	215	48	674	14%	251	50
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資\_図表 9-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
栃木県	993	1.2%	50	47	783	1.0%	40	47
県北	243	24%	64	50	154	20%	40	47
県西	28	3%	15	40	106	14%	58	49
県東	20	2%	14	39	16	2%	11	43
宇都宮	239	24%	46	46	68	9%	13	43
県南	363	37%	75	53	291	37%	60	50
両毛	100	10%	37	44	148	19%	55	49
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資\_図表 9-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
栃木県	4,935	4,327	196	16,060	7,526	3,896	36.5%	47	4.8%	50
県北	610	554	50	3,318	1,480	744	27.2%	44	6.3%	51
県西	352	302	0	1,403	554	454	35.3%	47	0.0%	48
県東	364	360	0	619	198	181	64.5%	58	0.0%	48
宇都宮	2,238	1,935	46	4,037	1,028	1,350	65.3%	58	3.3%	49
県南	300	300	0	4,857	3,460	730	8.0%	36	0.0%	48
両毛	1,071	876	100	1,826	806	437	52.1%	53	18.6%	56
出典	地方厚生局指定一覽令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資\_図表 9-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
栃木県	30,588	1.4%	1,549	48	15,000	1.6%	760	51
県北	4,056	13%	1,065	42	2,736	18%	718	50
県西	1,116	4%	614	36	660	4%	363	36
県東	852	3%	596	36	912	6%	638	47
宇都宮	10,380	34%	2,002	53	4,008	27%	773	52
県南	10,680	35%	2,217	56	4,128	28%	857	55
両毛	3,504	11%	1,306	45	2,556	17%	952	59
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資\_図表 9-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
栃木県	4,400	1.4%	223	48	2,952	1.4%	150	48	1,448	1.4%	73	46
県北	565	13%	148	39	357	12%	94	40	208	14%	55	39
県西	256	6%	141	39	146	5%	80	39	110	8%	61	41
県東	164	4%	115	36	72	2%	50	35	92	6%	64	43
宇都宮	1,022	23%	197	45	554	19%	107	42	468	32%	90	54
県南	1,929	44%	400	67	1,557	53%	323	72	372	26%	77	48
両毛	464	11%	173	42	266	9%	99	41	198	14%	74	47
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 9-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
栃木県	386	1.3%	19.6	47	182	1.3%	9.2	46	151	1.3%	7.6	47
県北	44	11%	11.6	40	25	14%	6.6	41	29	19%	7.6	47
県西	22	6%	12.1	41	7	4%	3.9	35	9	6%	5.0	40
県東	13	3%	9.1	38	9	5%	6.3	40	8	5%	5.6	42
宇都宮	88	23%	17.0	45	37	20%	7.1	42	29	19%	5.6	42
県南	182	47%	37.8	63	84	46%	17.4	63	55	36%	11.4	56
両毛	37	10%	13.8	42	20	11%	7.5	43	21	14%	7.8	47
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 9-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
栃木県	78	1.4%	4.0	47	120	1.2%	6.1	45	102	1.3%	5.2	47
県北	10	13%	2.6	42	20	17%	5.3	42	14	14%	3.7	42
県西	7	9%	3.9	47	8	7%	4.4	39	4	4%	2.2	36
県東	3	4%	2.1	39	6	5%	4.2	39	4	4%	2.8	38
宇都宮	20	26%	3.9	47	28	23%	5.4	43	27	26%	5.2	47
県南	29	37%	6.0	57	41	34%	8.5	52	42	41%	8.7	60
両毛	9	12%	3.4	45	17	14%	6.3	45	11	11%	4.1	43
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 9-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
栃木県	114	1.2%	5.8	45	349	1.6%	17.7	51	213	1.3%	10.8	45
県北	25	22%	6.6	47	44	13%	11.6	42	23	11%	6.0	34
県西	9	8%	5.0	43	17	5%	9.4	39	9	4%	5.0	32
県東	1	1%	0.7	31	12	3%	8.4	37	8	4%	5.6	33
宇都宮	21	18%	4.0	40	87	25%	16.8	49	60	28%	11.6	46
県南	40	35%	8.3	52	152	44%	31.6	70	89	42%	18.5	61
両毛	18	16%	6.7	48	37	11%	13.8	45	24	11%	8.9	41
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 9-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
栃木県	82	1.3%	4.2	47	93	1.3%	4.7	47	73	1.2%	3.7	47
県北	8	10%	2.1	37	16	17%	4.2	45	6	8%	1.6	40
県西	5	6%	2.8	40	3	3%	1.7	34	2	3%	1.1	39
県東	4	5%	2.8	40	3	3%	2.1	36	2	3%	1.4	40
宇都宮	17	21%	3.3	43	24	26%	4.6	47	21	29%	4.0	48
県南	40	49%	8.3	66	40	43%	8.3	62	39	53%	8.1	61
両毛	8	10%	3.0	41	7	8%	2.6	38	3	4%	1.1	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 9-17 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
栃木県	95	1.3%	4.8	47	20	1.2%	1.0	47	62	1.5%	3.1	49
県北	12	13%	3.2	42	2	10%	0.5	42	8	13%	2.1	44
県西	6	6%	3.3	42	1	5%	0.6	42	2	3%	1.1	39
県東	1	1%	0.7	35	0	0%	0	37	2	3%	1.4	41
宇都宮	21	22%	4.0	45	5	25%	1.0	46	17	27%	3.3	50
県南	49	52%	10.2	63	11	55%	2.3	60	30	48%	6.2	64
両毛	6	6%	2.2	39	1	5%	0.4	41	3	5%	1.1	39
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資\_図表 9-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
栃木県	24	1.1%	1.2	46	36	1.3%	1.8	48
県北	2	8%	0.5	41	6	17%	1.6	46
県西	2	8%	1.1	45	2	6%	1.1	43
県東	0	0%	0	36	0	0%	0	35
宇都宮	7	29%	1.3	47	14	39%	2.7	54
県南	11	46%	2.3	54	11	31%	2.3	51
両毛	2	8%	0.7	42	3	8%	1.1	43
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 9-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
栃木県	16,762	1.5%	849	48	12,736	1.4%	645	47	4,026	1.8%	204	54
県北	2,856	17%	750	45	2,211	17%	580	44	645	16%	169	49
県西	1,273	8%	700	43	975	8%	536	42	298	7%	164	48
県東	851	5%	596	39	550	4%	385	36	301	7%	211	55
宇都宮	4,612	28%	889	50	3,332	26%	642	47	1,280	32%	247	60
県南	4,928	29%	1,023	54	3,965	31%	823	54	963	24%	200	53
両毛	2,243	13%	836	48	1,704	13%	635	46	539	13%	201	53
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資\_図表 9-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	薬剤師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
栃木県	1,642	1.2%	83	45	4,160	1.3%	211	47
県北	388	24%	102	49	624	15%	164	42
県西	128	8%	70	43	301	7%	166	42
県東	46	3%	32	36	226	5%	158	42
宇都宮	431	26%	83	45	1,264	30%	244	50
県南	495	30%	103	49	1,205	29%	250	51
両毛	156	9%	58	41	540	13%	201	46
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

資\_図表 9-21 在宅医療施設数 (在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
栃木県	153	1.1%	0.6	44	7	0.5%	0.0	42	109	0.9%	0.5	39
県北	36	24%	0.7	46	1	14%	0.0	40	19	17%	0.4	36
県西	5	3%	0.2	34	0	0%	0	37	8	7%	0.3	32
県東	11	7%	0.6	43	0	0%	0	37	5	5%	0.3	31
宇都宮	31	20%	0.6	43	2	29%	0.0	43	31	28%	0.6	44
県南	48	31%	0.9	50	4	57%	0.1	48	28	26%	0.5	41
両毛	22	14%	0.6	43	0	0%	0	37	18	17%	0.5	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資\_図表 9-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
栃木県	23,647	1.4%	98	46	14,980	1.5%	62	51	8,667	1.2%	36	45
県北	4,680	20%	94	43	2,914	19%	59	48	1,766	20%	36	45
県西	2,679	11%	100	47	1,846	12%	69	56	833	10%	31	42
県東	1,616	7%	88	40	1,163	8%	63	51	453	5%	25	38
宇都宮	5,631	24%	106	50	3,299	22%	62	50	2,332	27%	44	50
県南	5,488	23%	100	47	3,536	24%	64	52	1,952	23%	36	45
両毛	3,553	15%	96	44	2,222	15%	60	49	1,331	15%	36	45
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 9-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数				特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
栃木県	5,767	1.6%	24	52	8,705	1.5%	36	50	508	1.0%	2.1	47
県北	1,145	20%	23	51	1,629	19%	33	47	140	28%	2.8	49
県西	774	13%	29	61	1,022	12%	38	52	50	10%	1.9	47
県東	520	9%	28	60	643	7%	35	49	0	0%	0	42
宇都宮	1,038	18%	19	45	1,943	22%	36	51	318	63%	6.0	57
県南	1,394	24%	25	55	2,142	25%	39	53	0	0%	0	42
両毛	896	16%	24	53	1,326	15%	36	50	0	0%	0	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 9-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
栃木県	1,275	0.5%	5.3	41	683	2.9%	2.8	57	2,244	1.1%	9.3	44
県北	246	19%	5.0	41	71	10%	1.4	50	528	24%	10.6	47
県西	150	12%	5.6	42	40	6%	1.5	50	240	11%	8.9	44
県東	0	0%	0	36	0	0%	0	43	180	8%	9.8	45
宇都宮	255	20%	4.8	41	380	56%	7.1	77	387	17%	7.3	41
県南	352	28%	6.4	42	100	15%	1.8	52	558	25%	10.2	46
両毛	272	21%	7.3	43	92	13%	2.5	55	351	16%	9.4	45
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 9-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
栃木県	4,465	1.8%	18.6	55	410	1.6%	1.7	51	4,055	1.8%	16.9	55
県北	921	21%	18.6	55	100	24%	2.0	52	821	20%	16.6	54
県西	403	9%	15.0	50	28	7%	1.0	47	375	9%	14.0	51
県東	273	6%	14.8	50	30	7%	1.6	50	243	6%	13.2	50
宇都宮	1,310	29%	24.6	63	0	0%	0	42	1,310	32%	24.6	66
県南	942	21%	17.2	53	116	28%	2.1	53	826	20%	15.0	52
両毛	616	14%	16.6	52	136	33%	3.7	61	480	12%	12.9	49
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 9-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	人数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
栃木県	2,265	1.3%	9.4	44	1,728	1.4%	7.2	49	537	1.0%	2.2	40
県北	450	20%	9.1	43	365	21%	7.4	50	86	16%	1.7	36
県西	212	9%	7.9	37	187	11%	7.0	48	26	5%	1.0	29
県東	124	5%	6.8	32	102	6%	5.6	41	22	4%	1.2	31
宇都宮	596	26%	11.2	52	440	25%	8.3	55	156	29%	2.9	46
県南	539	24%	9.8	46	390	23%	7.1	49	149	28%	2.7	44
両毛	343	15%	9.2	43	244	14%	6.6	46	99	18%	2.7	44
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 9-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設 等)				介護職員 数 (在宅)			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
栃木県	21,751	1.4%	91	48	19,432	1.5%	81	52	2,319	1.1%	9.7	43
県北	4,325	20%	87	45	3,964	20%	80	51	361	16%	7.3	38
県西	2,351	11%	88	46	2,161	11%	81	51	190	8%	7.1	38
県東	1,543	7%	84	42	1,462	8%	80	50	81	3%	4.4	33
宇都宮	4,582	21%	86	44	3,838	20%	72	43	744	32%	13.9	51
県南	5,317	24%	97	54	4,762	25%	87	57	555	24%	10.1	44
両毛	3,633	17%	98	54	3,244	17%	87	57	389	17%	10.5	44

出典 令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 9-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数				訪問介護 利用者数			
					全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
栃木県	10,698	0.9%	45	41	4,642	0.8%	19	40	14,009	1.3%	58	46
県北	1,388	13%	28	37	767	17%	15	37	2,074	15%	42	39
県西	260	2%	10	31	219	5%	8	32	1,097	8%	41	38
県東	420	4%	23	35	196	4%	11	33	597	4%	32	35
宇都宮	2,346	22%	44	41	1,244	27%	23	42	4,381	31%	82	56
県南	3,557	33%	65	47	1,355	29%	25	43	3,262	23%	59	46
両毛	2,727	25%	73	49	861	19%	23	42	2,598	19%	70	51

出典 令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 9-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
栃木県		2,016,631	1,974,255	-2%	1,872,842	-7%	10%	5%	15%
県北	地方都市型	393,210	380,922	-3%	351,512	-11%	8%	4%	13%
県西	過疎地域型	198,439	181,760	-8%	160,047	-19%	3%	-1%	2%
県東	地方都市型	153,253	142,917	-7%	128,333	-16%	3%	2%	5%
宇都宮	地方都市型	502,396	518,594	3%	520,882	4%	16%	9%	26%
県南	地方都市型	485,651	481,691	-1%	464,271	-4%	12%	7%	20%
両毛	地方都市型	283,682	268,371	-5%	247,797	-13%	7%	1%	9%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など)  
<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月  
※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。

資\_図表 9-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
栃木県	118	5.9	47	106	5.4	47	-12	-10%
県北	22	5.6	46	21	5.5	47	-1	-5%
県西	12	6.0	47	11	6.1	49	-1	-8%
県東	5	3.3	40	5	3.5	42	0	0%
宇都宮	34	6.8	49	31	6.0	48	-3	-9%
県南	27	5.6	46	22	4.6	45	-5	-19%
両毛	18	6.3	48	16	6.0	48	-2	-11%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 9-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
栃木県	1,358	67	46	1,458	74	47	100	7%
県北	222	56	40	227	60	39	5	2%
県西	107	54	39	119	65	42	12	11%
県東	93	61	42	101	71	45	8	9%
宇都宮	414	82	53	432	83	52	18	4%
県南	324	67	45	373	77	48	49	15%
両毛	198	70	47	206	77	48	8	4%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 9-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
栃木県	4,030	200	49	4,400	223	48	370	9%
県北	505	128	40	565	148	39	60	12%
県西	246	124	40	256	141	39	10	4%
県東	169	110	38	164	115	36	-5	-3%
宇都宮	940	187	47	1,022	197	45	82	9%
県南	1,735	357	67	1,929	400	67	194	11%
両毛	435	153	43	464	173	42	29	7%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資\_図表 9-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
栃木県	25,855	128	48	22,605	114	47	-3,250	-13%
県北	4,614	117	46	4,128	108	46	-486	-11%
県西	2,510	126	47	1,967	108	46	-543	-22%
県東	1,264	82	39	1,131	79	41	-133	-11%
宇都宮	7,718	154	52	6,774	131	50	-944	-12%
県南	6,163	127	47	5,471	114	47	-692	-11%
両毛	3,586	126	47	3,134	117	48	-452	-13%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 9-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
栃木県	15,549	77	48	13,350	68	46	-2,199	-14%
県北	2,548	65	43	2,239	59	43	-309	-12%
県西	1,264	64	43	1,055	58	43	-209	-17%
県東	812	53	39	693	48	39	-119	-15%
宇都宮	4,009	80	49	3,446	66	46	-563	-14%
県南	4,673	96	54	4,054	84	53	-619	-13%
両毛	2,243	79	48	1,863	69	47	-380	-17%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資\_図表 9-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

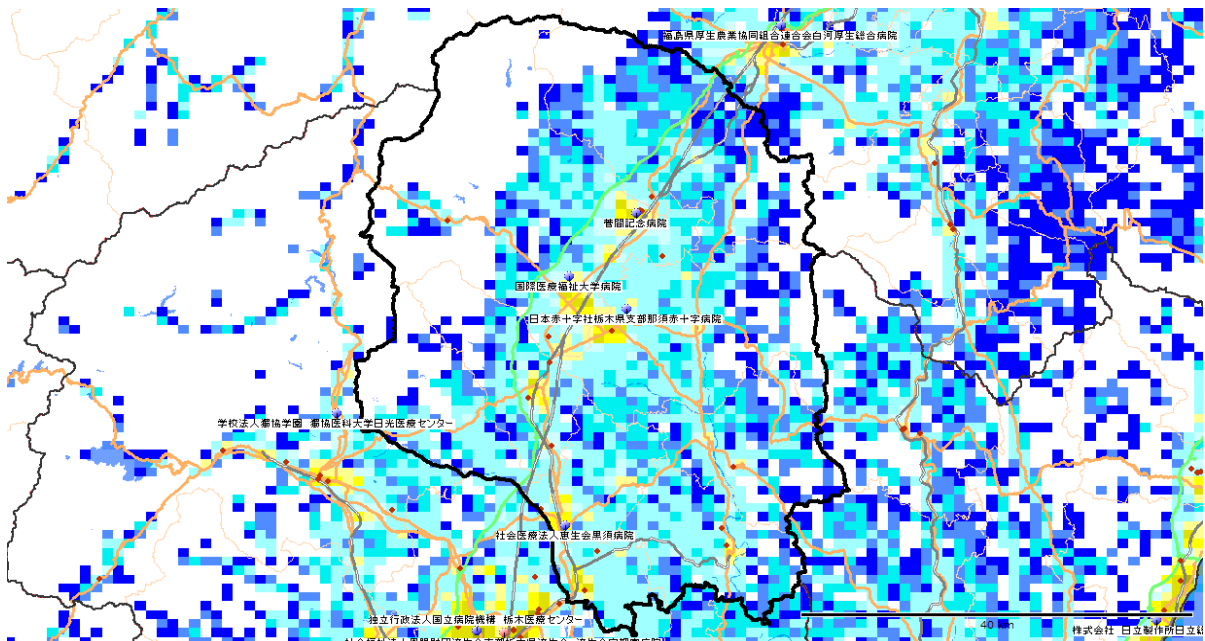
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
栃木県	4,690	26	46	4,207	18	48	-483	-10%
県北	946	24	46	812	16	47	-134	-14%
県西	686	31	49	458	17	47	-228	-33%
県東	197	12	39	197	11	42	0	0%
宇都宮	1,548	42	55	1,412	26	56	-136	-9%
県南	698	17	41	750	14	44	52	7%
両毛	615	21	44	578	16	46	-37	-6%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

# 9-1. けんほく 県北医療圏

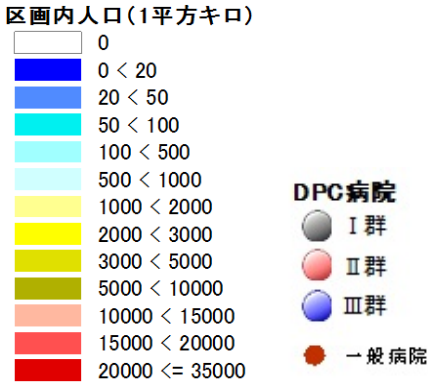
構成市区町村 [大田原市](#) [矢板市](#) [那須塩原市](#) [さくら市](#)  
[那須烏山市](#) [塩谷町](#) [高根沢町](#) [那須町](#)  
[那珂川町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県北(大田原市)は、総人口約381千人(2015年)、面積2,230km<sup>2</sup>、人口密度は171人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県北の総人口は2025年に352千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に296千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の50千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には71千人へと増加する(2025年比+11%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県北の一人当たり医療費(国保)は324千円(偏差値43)、介護給付費は235千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県北の一人当たり急性期医療密度指数は0.75、一人当たり慢性期医療密度指数は0.79で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。県北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の那須赤十字病院(Ⅲ群・救命)、国際医療福祉大学病院(I群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,680人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,914床(偏差値48)、高齢者住宅等が1,766床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,964人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム41、軽費ホーム50、グループホーム47、サ高住55である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値40と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員(在宅)の合計は、361人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-34%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県北医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県北医療圏の総人口は、2005年393,210人が、2015年に380,922人と3%減少し、2025年の人口が351,512人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

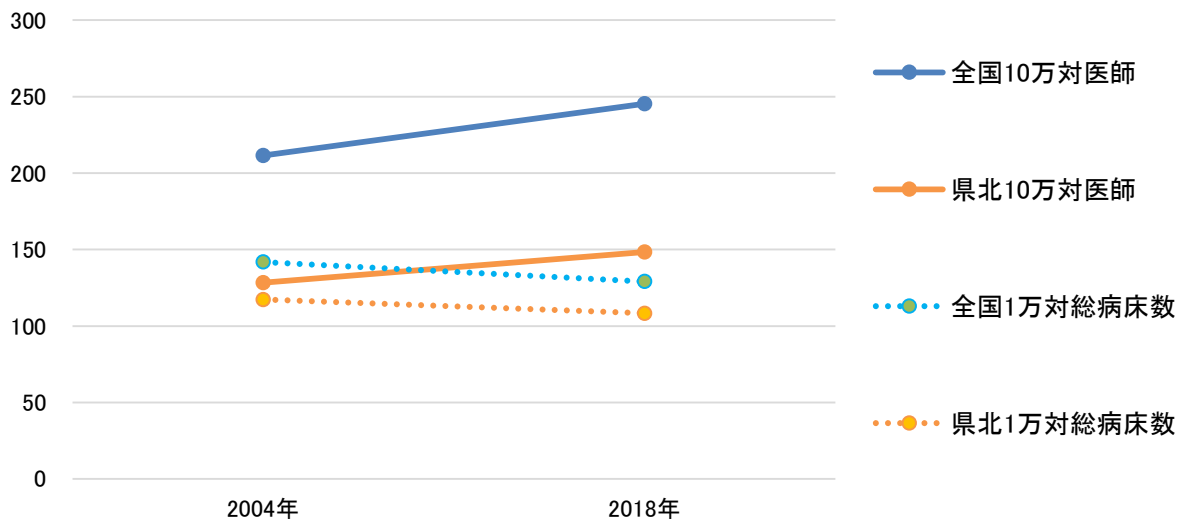
2004年の病院数が22(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2018年に21(人口10万人当たり5.5病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が222(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2018年に227(人口10万人当たり60診療所(全国平均80)偏差値39)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,614床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2018年に4,128床(人口1万人当たり108(全国平均129)偏差値46)と、486床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

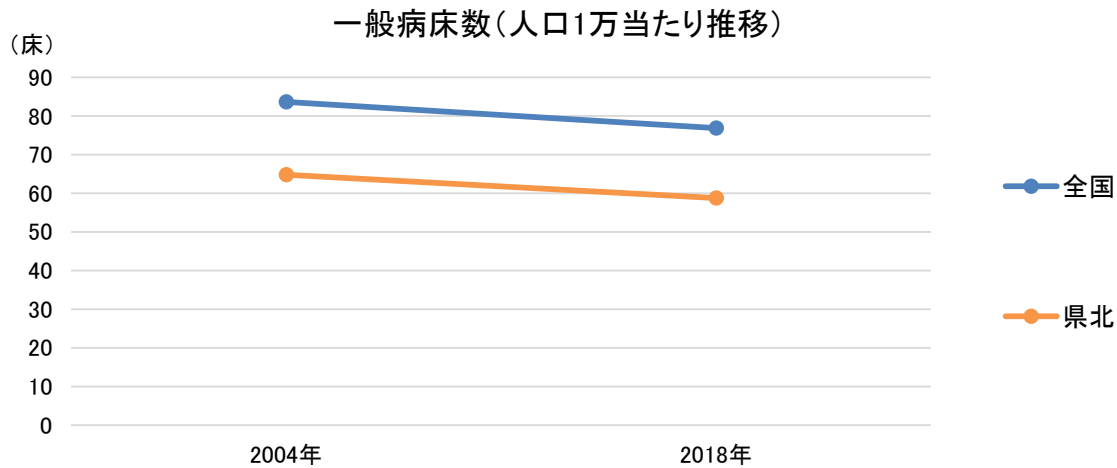
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が505人(人口10万人当たり128人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2018年に565人(人口10万人当たり148人(全国平均245人)偏差値39)と、60人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



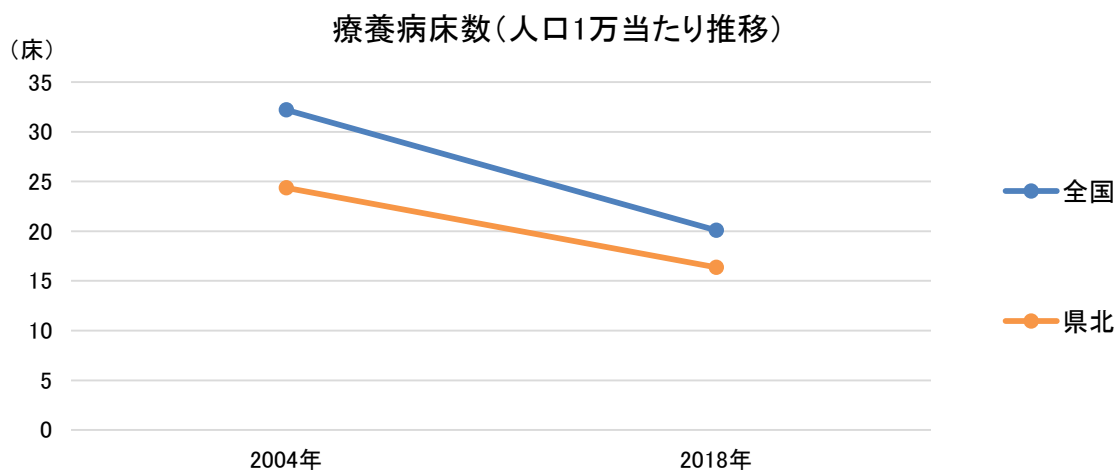
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,548床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2018年に2,239床(人口1万人当たり59(全国平均77)偏差値43)と、309床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



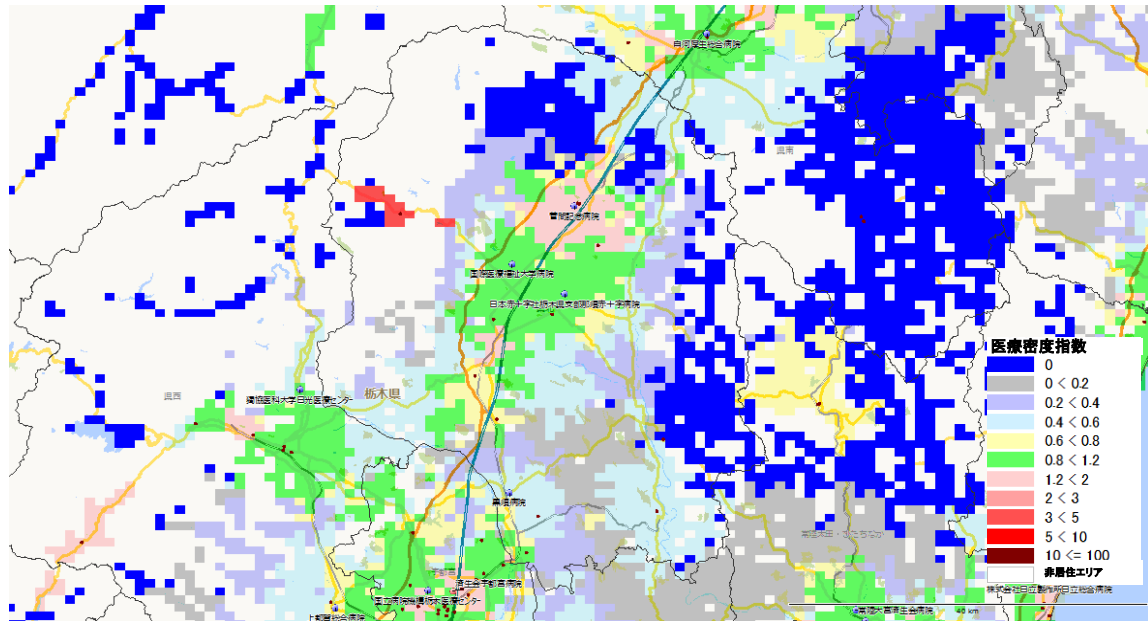
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が946床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2018年に812床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値47)と、134床の減少、率にして14%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



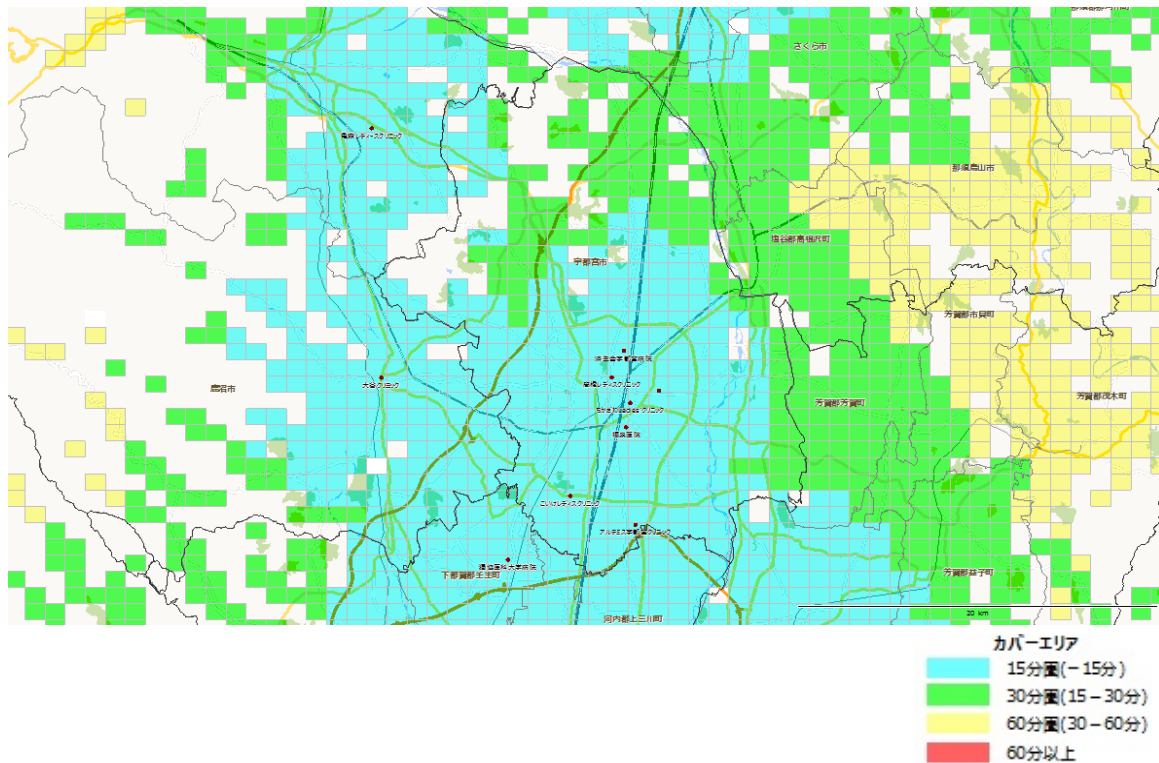
(県北医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400) 」)



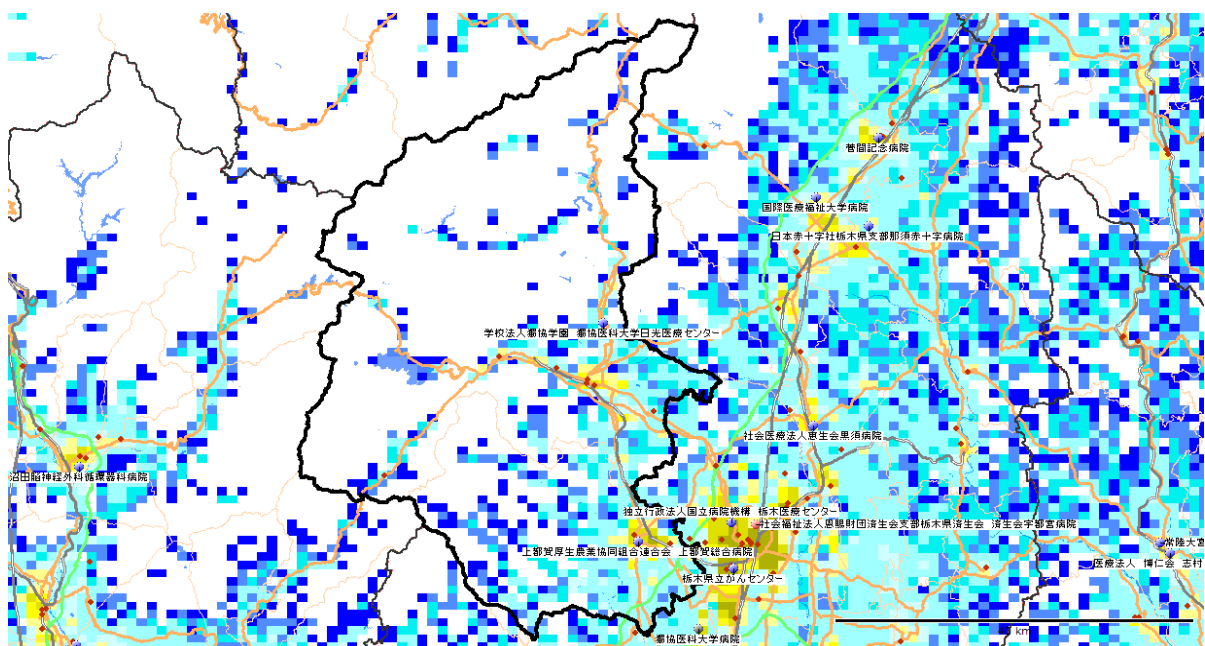


# 9-2. けんせい 県西医療圏

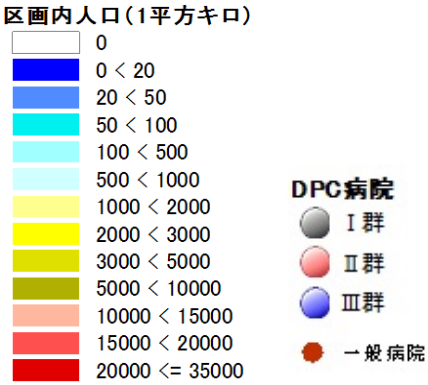
構成市区町村 [鹿沼市](#) [日光市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (県西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県西(鹿沼市)は、総人口約182千人(2015年)、面積1,940km<sup>2</sup>、人口密度は94人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県西の総人口は2025年に160千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に126千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には33千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県西の一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値46)、介護給付費は223千円(偏差値41)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県西の一人当たり急性期医療密度指数は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は1.06で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数39、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。県西には、年間全身麻酔件数が500例以上の獨協医科大学日光医療センター(Ⅲ群)、上都賀総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値40と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,679人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,846床(偏差値56)、高齢者住宅等が833床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,161人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム42、軽費ホーム50、グループホーム44、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、190人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (県西医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

県西医療圏の総人口は、2005年198,439人が、2015年に181,760人と8%減少し、2025年の人口が160,047人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

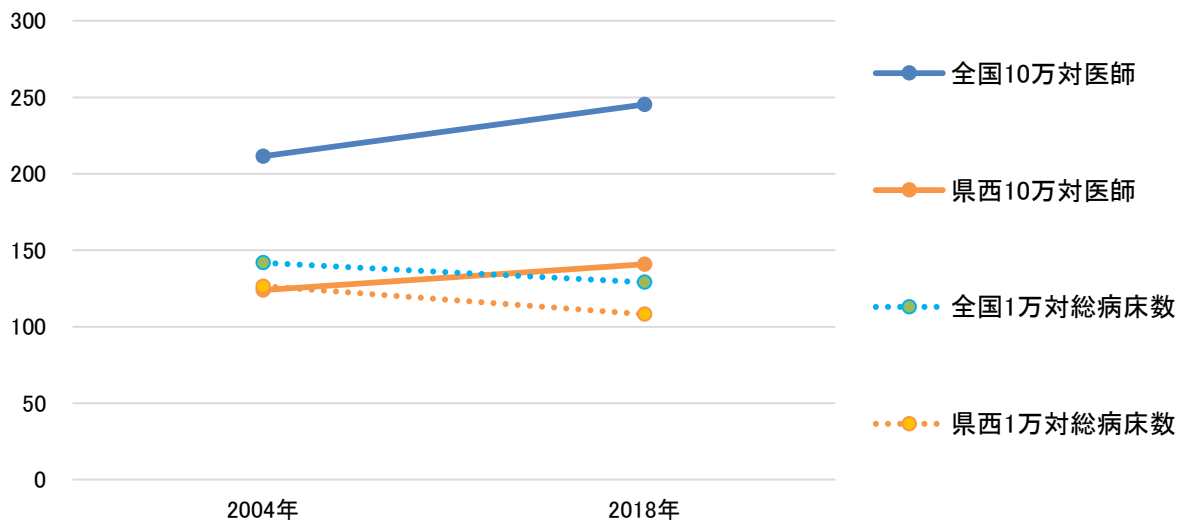
2004年の病院数が12(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2018年に11(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が107(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2018年に119(人口10万人当たり65診療所(全国平均80)偏差値42)と、12診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,510床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2018年に1,967床(人口1万人当たり108(全国平均129)偏差値46)と、543床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

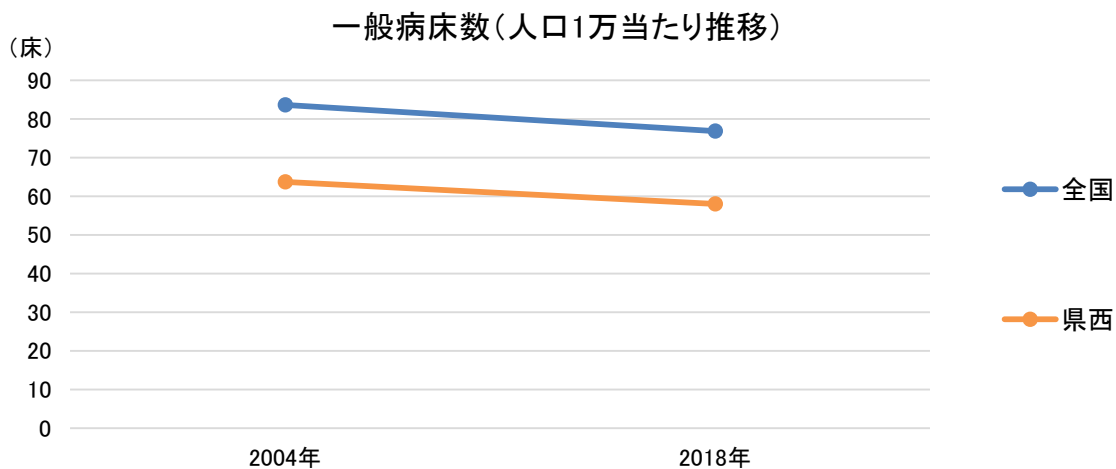
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が246人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2018年に256人(人口10万人当たり141人(全国平均245人)偏差値39)と、10人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



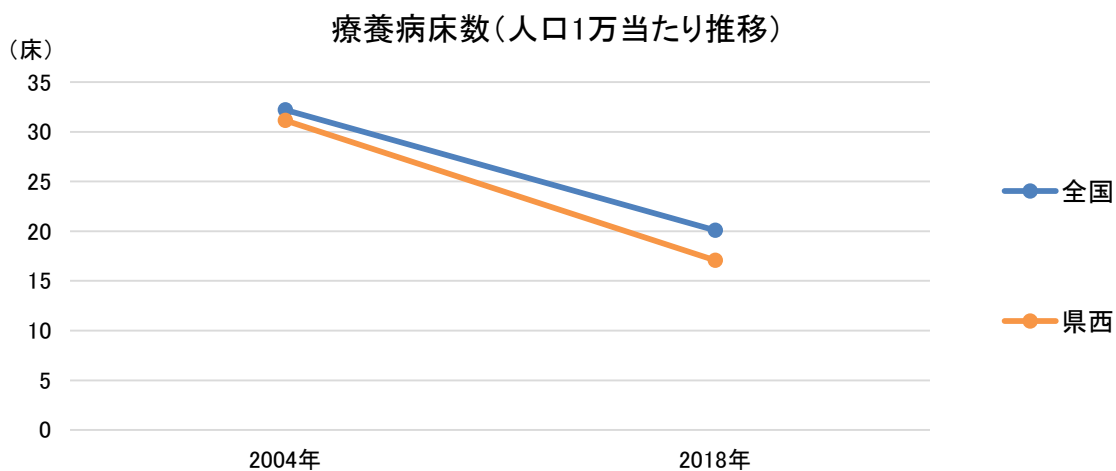
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,264床(人口1万人当たり64(全国平均84)偏差値43)であったが、2018年に1,055床(人口1万人当たり58(全国平均77)偏差値43)と、209床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



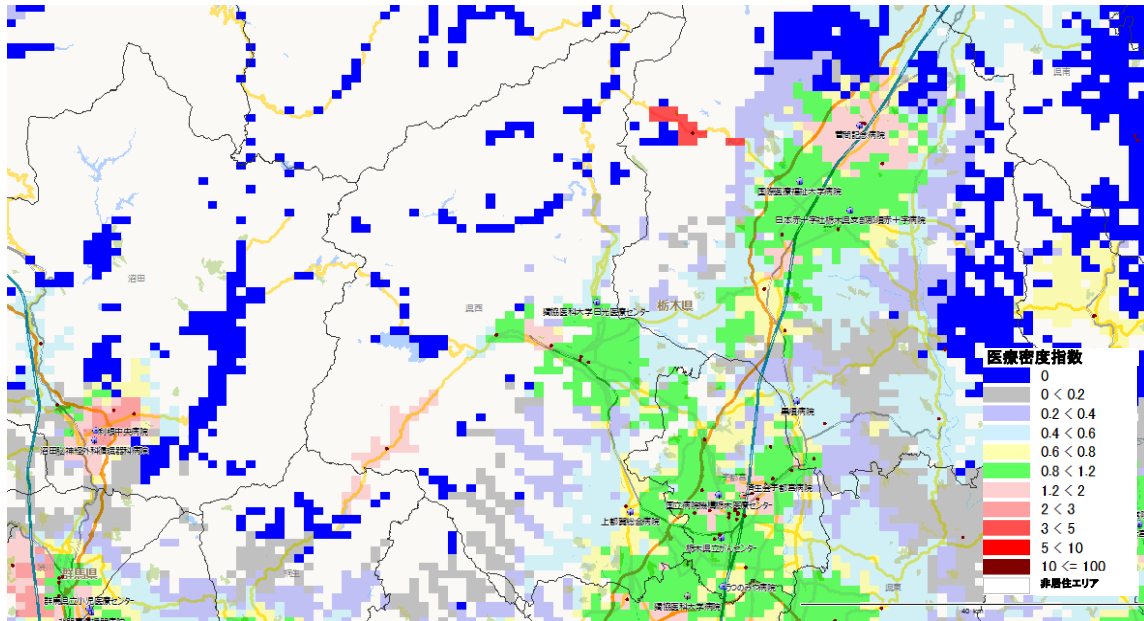
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が686床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2018年に458床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均20)偏差値47)と、228床の減少、率にして33%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



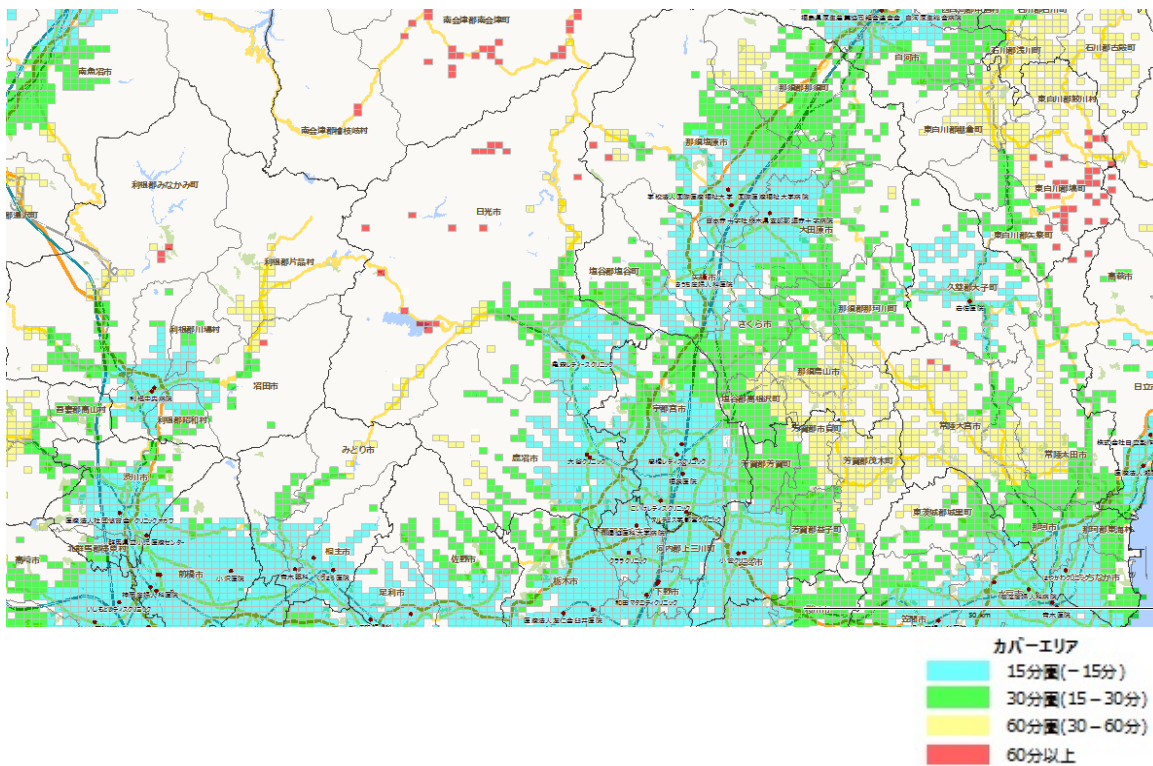
(県西医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-2-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関 (病院と有床診療所) への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの (「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400) )

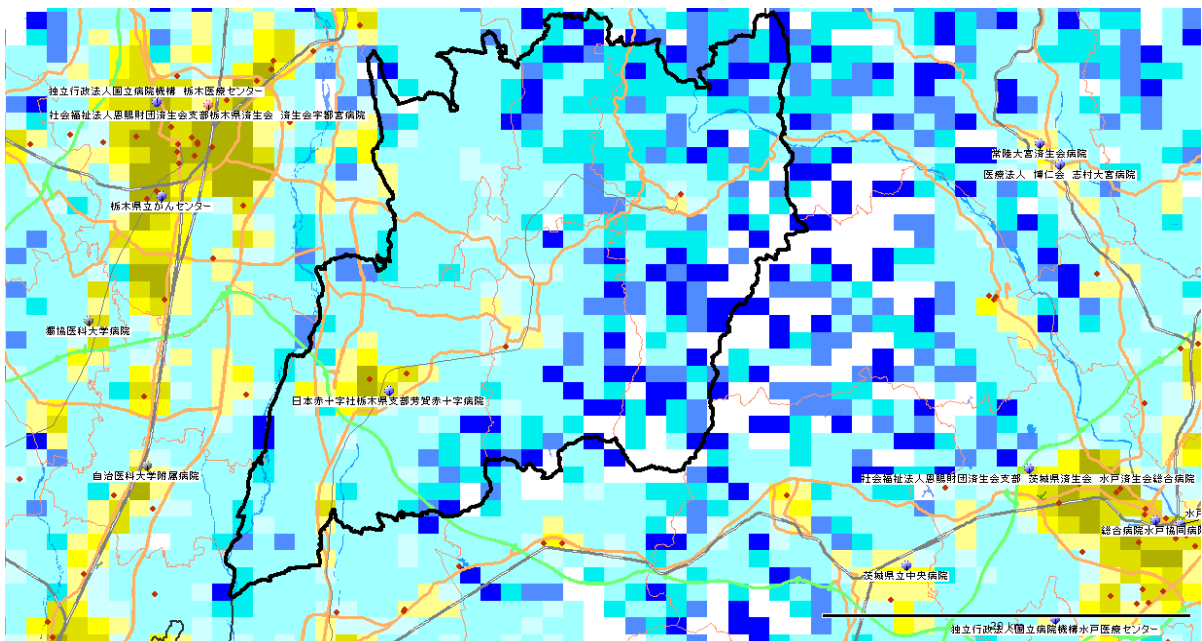


# 9-3. けんとう 県東医療圏

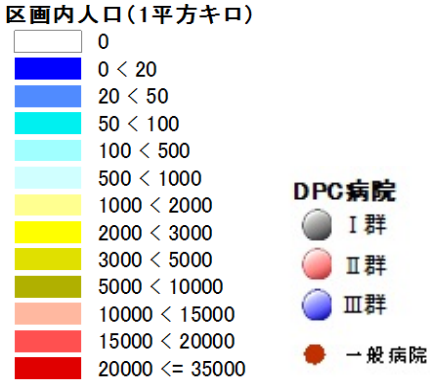
構成市区町村 [真岡市](#) [益子町](#) [茂木町](#) [市貝町](#)  
[芳賀町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

## 人口分布(1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



## (県東医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県東(真岡市)は、総人口約143千人(2015年)、面積564km<sup>2</sup>、人口密度は253人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県東の総人口は2025年に128千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に104千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて23千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には26千人へと増加する(2025年比+13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県東の一人当たり医療費(国保)は313千円(偏差値40)、介護給付費は236千円(偏差値44)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県東の一人当たり急性期医療密度指数は0.88、一人当たり慢性期医療密度指数は0.55で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が36(病院医師数35、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。県東には、年間全身麻酔件数が500例以上の芳賀赤十字病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値36と少なく、回復期病床数は偏差値39と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,616人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,163床(偏差値51)、高齢者住宅等が453床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,462人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値31と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、81人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-38%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県東医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県東医療圏の総人口は、2005年153,253人が、2015年に142,917人と7%減少し、2025年の人口が128,333人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

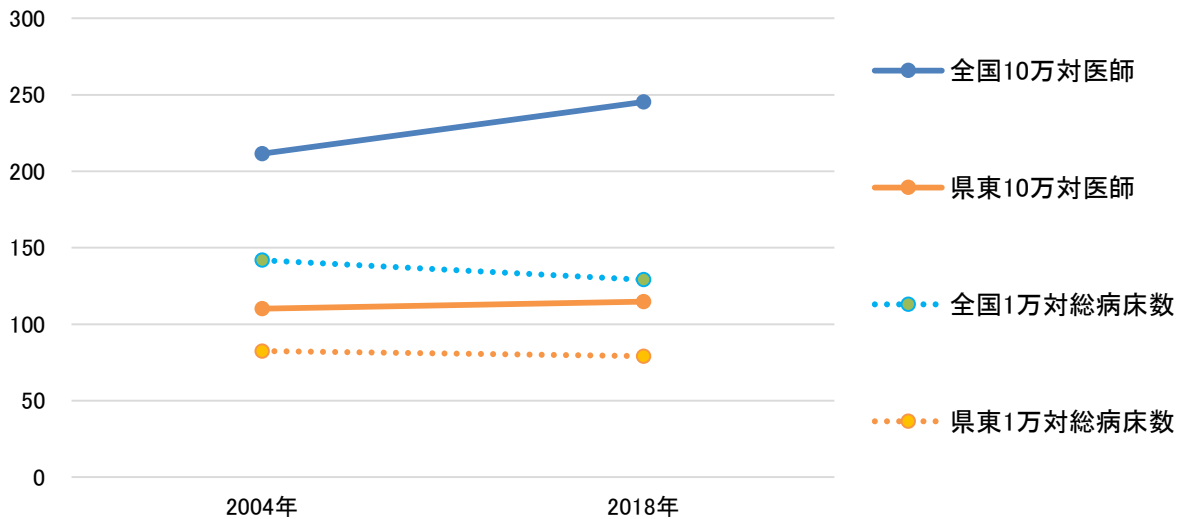
2004年の病院数が5(人口10万人当たり3.3病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2018年に5(人口10万人当たり3.5病院(全国平均6.6)偏差値42)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が93(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2018年に101(人口10万人当たり71診療所(全国平均80)偏差値45)と、8診療所が増加した。

2004年の総病床数が1,264床(人口1万人当たり82(全国平均142)偏差値39)であったが、2018年に1,131床(人口1万人当たり79(全国平均129)偏差値41)と、133床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が169人(人口10万人当たり110人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2018年に164人(人口10万人当たり115人(全国平均245人)偏差値36)と、5人の減少、率にして3%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

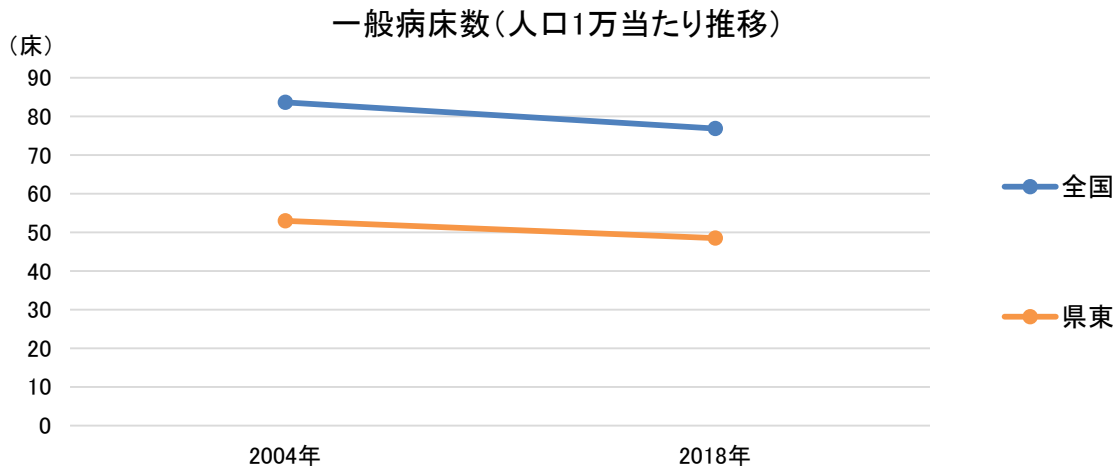
人口当たり医師数・総病床数の推移





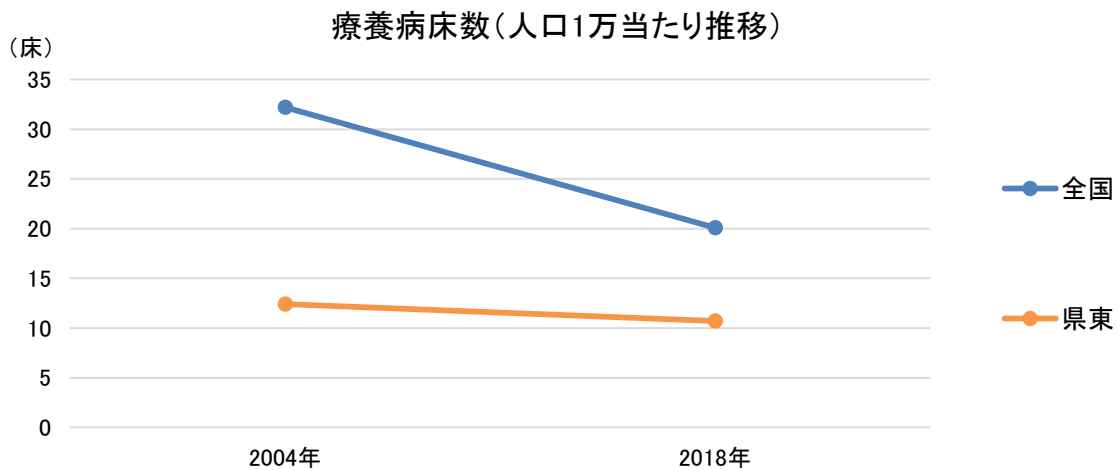
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が812床(人口1万人当たり53(全国平均84)偏差値39)であったが、2018年に693床(人口1万人当たり48(全国平均77)偏差値39)と、119床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



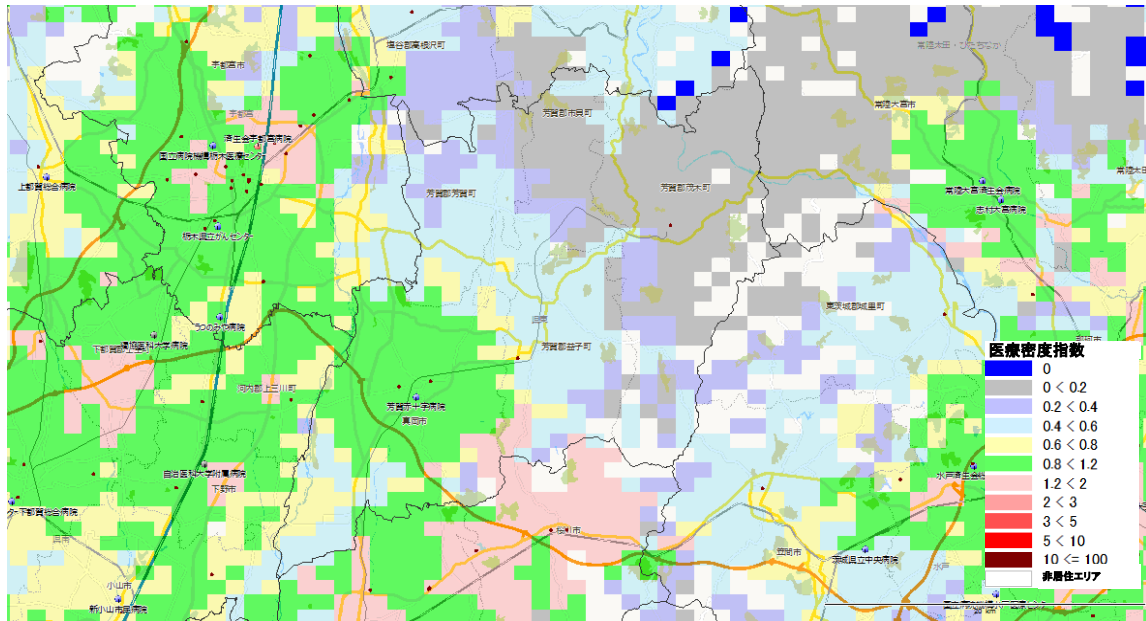
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が197床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均32)偏差値39)であったが、2018年に197床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値42)と、増減がなかった(全国平均12%の減少)。



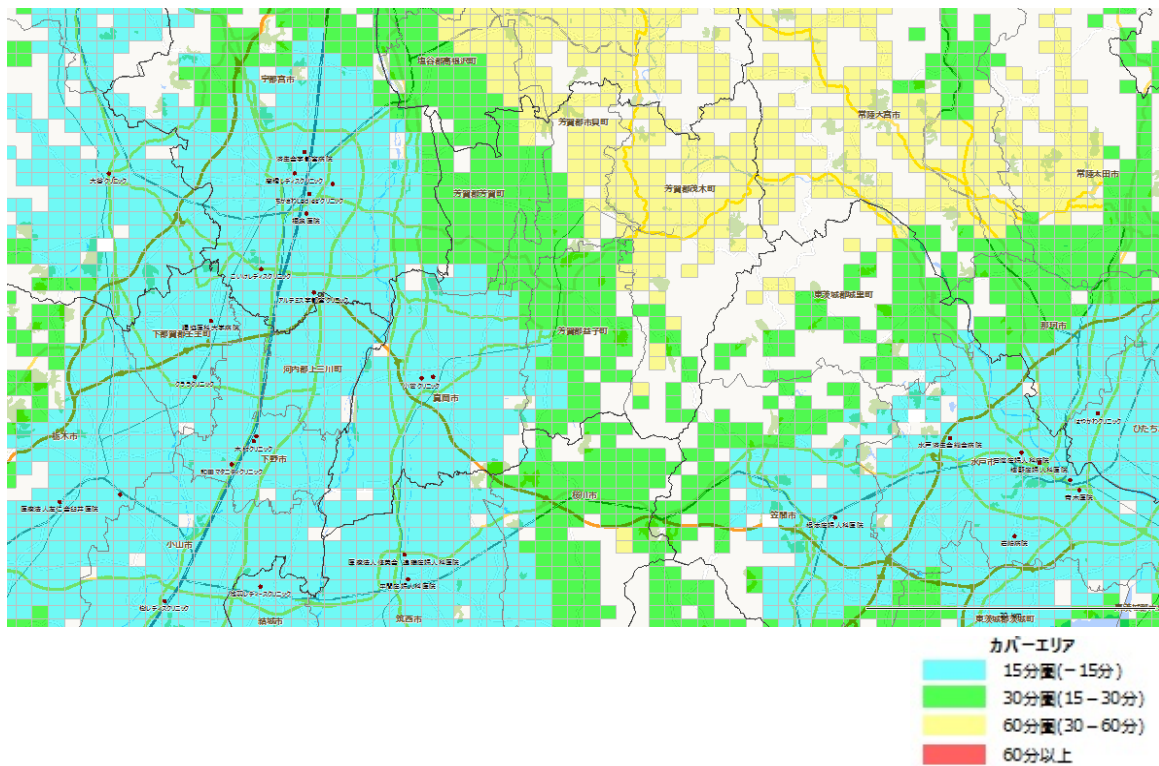
(県東医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

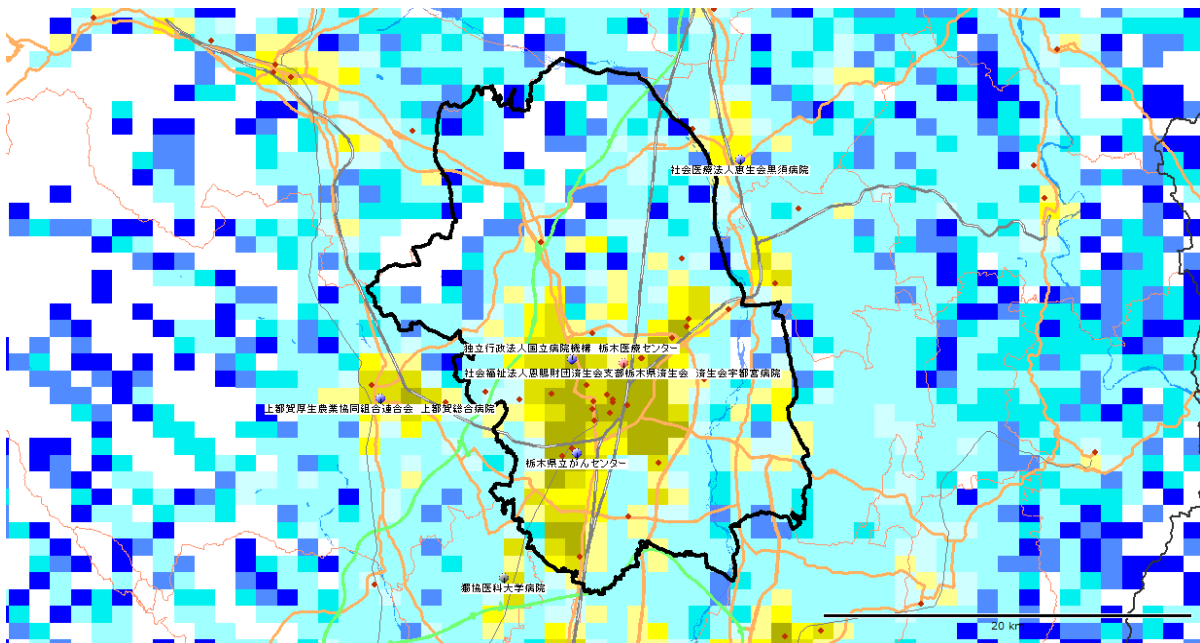


# 9-4. うつのみや 宇都宮医療圏

構成市区町村 [宇都宮市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market  
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (宇都宮医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 宇都宮(宇都宮市)は、総人口約519千人(2015年)、面積417km<sup>2</sup>、人口密度は1,244人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 宇都宮の総人口は2025年に521千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に495千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の53千人が、2025年にかけて77千人へと増加し(2015年比+45%)、2040年には82千人へと増加する(2025年比+6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 宇都宮の一人当たり医療費(国保)は332千円(偏差値45)、介護給付費は209千円(偏差値36)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 宇都宮の一人当たり急性期医療密度指数は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は0.91で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が45(病院医師数42、診療所医師数54)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。宇都宮には、年間全身麻酔件数が2000例以上の済生会宇都宮病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上のNH0栃木医療センター(Ⅲ群)、栃木県立がんセンター(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 宇都宮の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,631人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3,299床(偏差値50)、高齢者住宅等が2,332床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,838人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム41、軽費ホーム77、グループホーム41、サ高住63である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、744人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-51%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (宇都宮医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

宇都宮医療圏の総人口は、2005年502,396人が、2015年に518,594人と3%増加し、2025年の人口が520,882人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

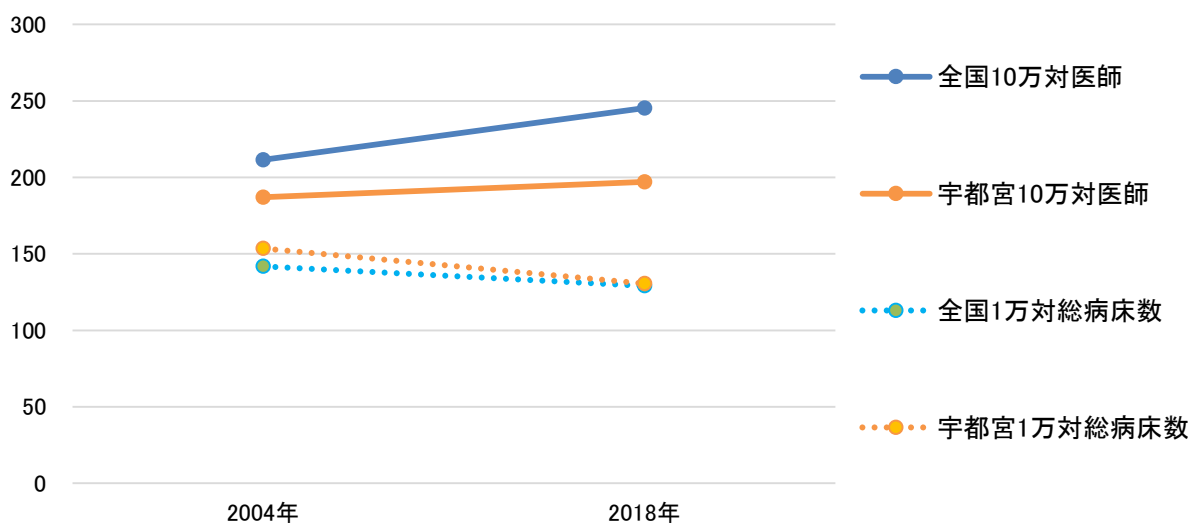
2004年の病院数が34(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2018年に31(人口10万人当たり6病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、14年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が414(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2018年に432(人口10万人当たり83診療所(全国平均80)偏差値52)と、18診療所が増加した。

2004年の総病床数が7,718床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2018年に6,774床(人口1万人当たり131(全国平均129)偏差値50)と、944床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

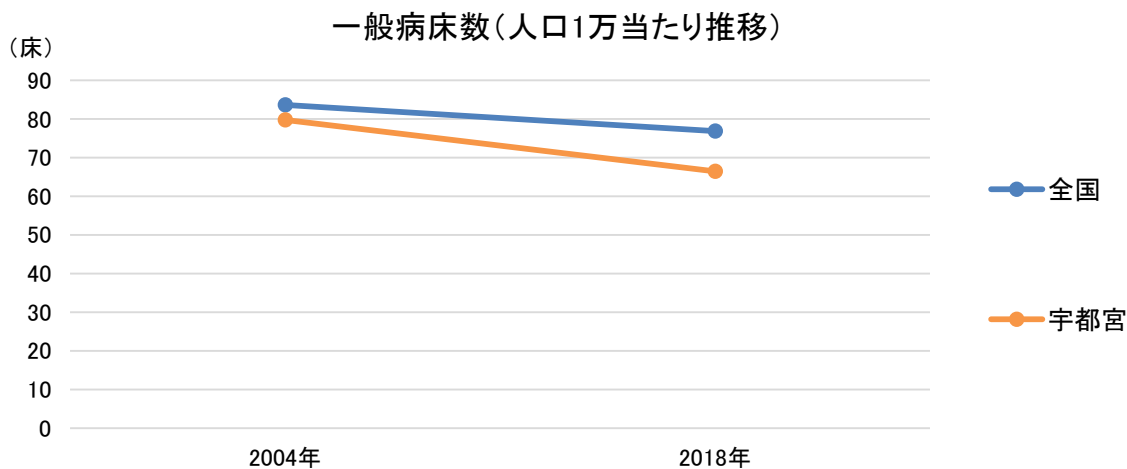
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が940人(人口10万人当たり187人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2018年に1,022人(人口10万人当たり197人(全国平均245人)偏差値45)と、82人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



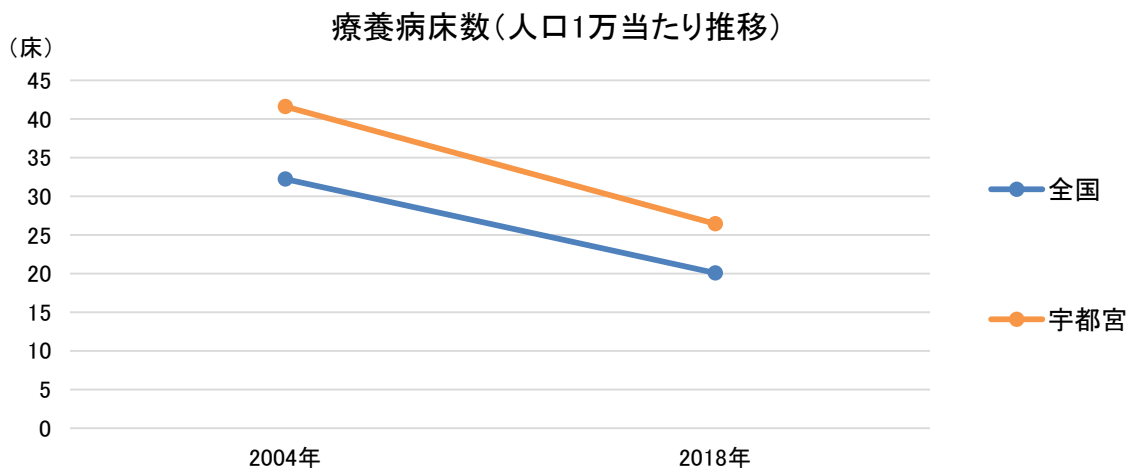
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,009床(人口1万人当たり80(全国平均84)偏差値49)であったが、2018年に3,446床(人口1万人当たり66(全国平均77)偏差値46)と、563床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



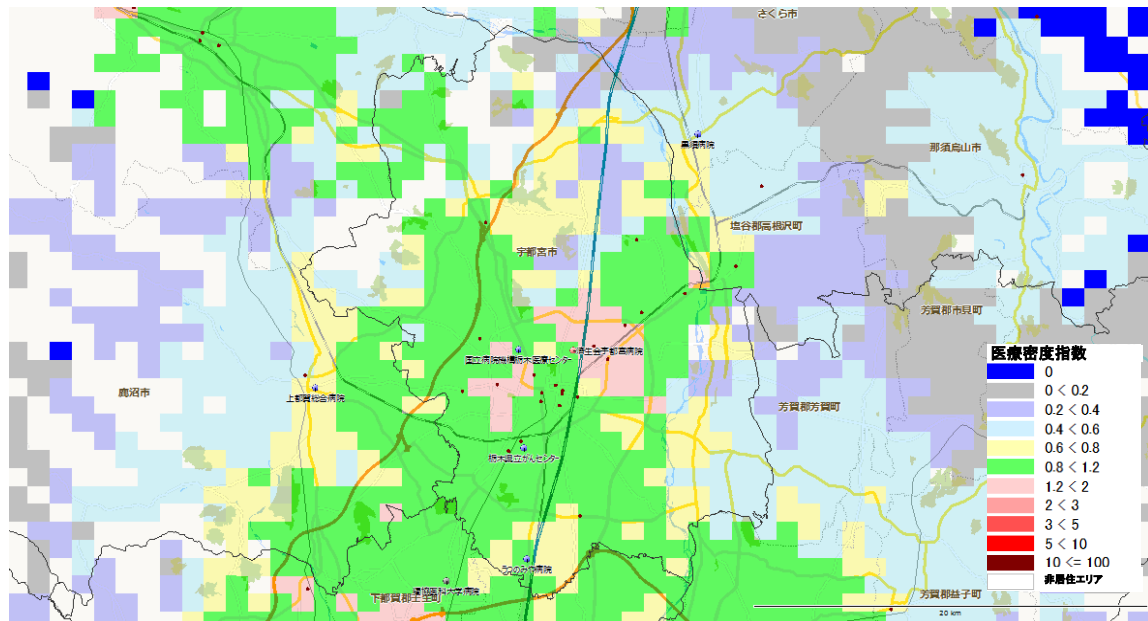
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,548床(75歳以上1,000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2018年に1,412床(75歳以上1,000人当たり26(全国平均20)偏差値56)と、136床の減少、率にして9%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



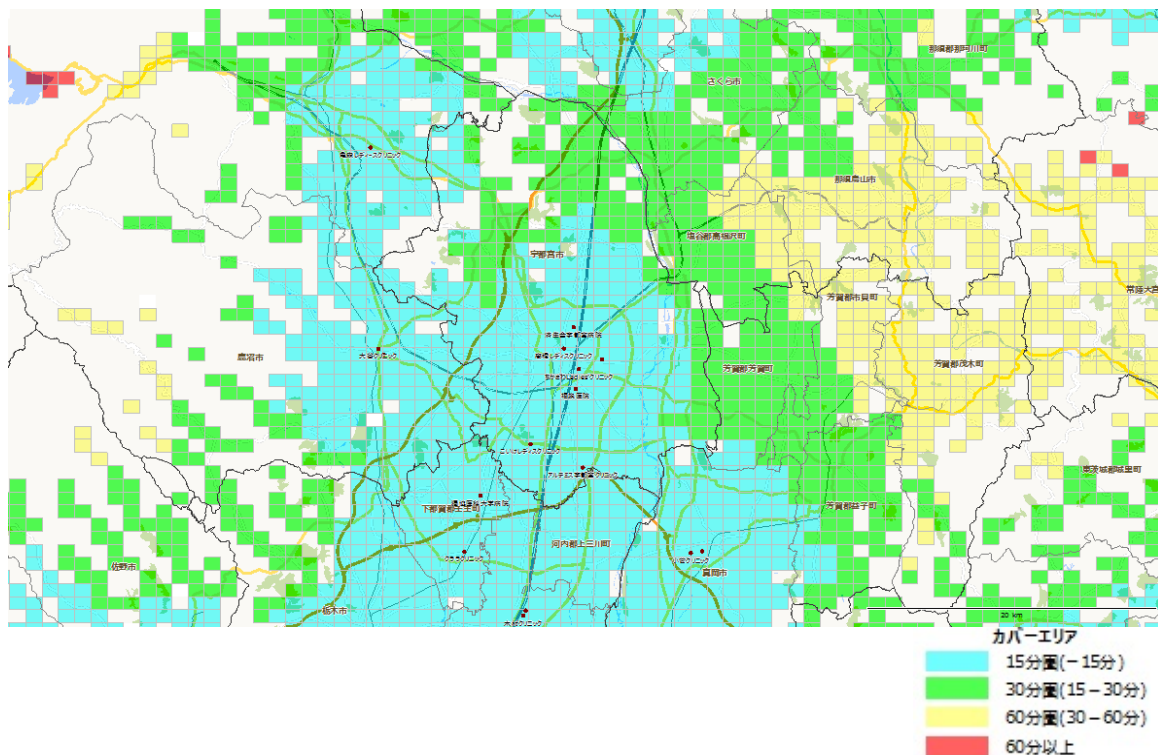
(宇都宮医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

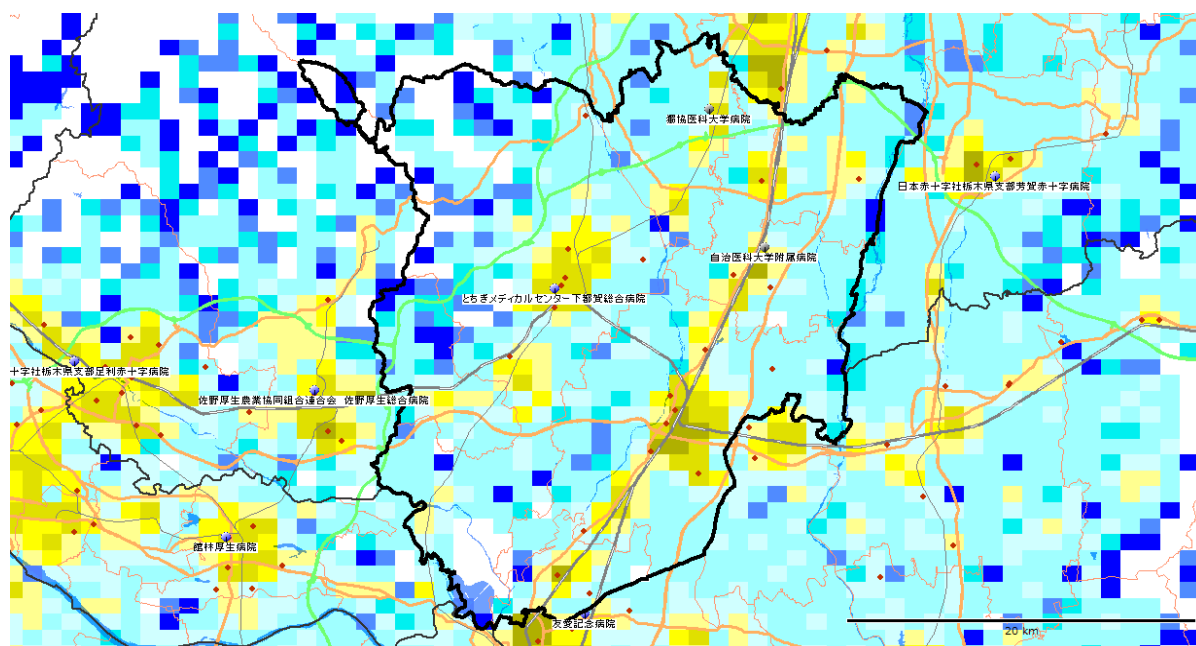


# 9-5. けんなん 県南医療圏

構成市区町村 [栃木市](#) [小山市](#) [下野市](#) [上三川町](#)  
[壬生町](#) [野木町](#) [岩舟町](#)

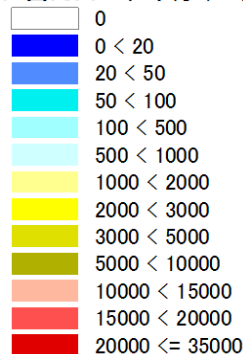
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market  
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院





## (県南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 県南(栃木市)は、総人口約482千人(2015年)、面積724km<sup>2</sup>、人口密度は666人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 県南の総人口は2025年に464千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に417千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の55千人が、2025年にかけて76千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には83千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 県南の一人当たり医療費(国保)は329千円(偏差値44)、介護給付費は230千円(偏差値43)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 県南の一人当たり急性期医療密度指数は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数は0.75で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が67(病院医師数72、診療所医師数48)と、総医師数、特に病院医師数は非常に多いが、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。県南には、年間全身麻酔件数が2000例以上の獨協医科大学病院(I群・救命)、自治医科大学附属病院(I群・救命)、1000例以上のとちぎメディカルセンターしもつが(III群)、500例以上の新小山市民病院(III群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 県南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,488人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをややや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,536床(偏差値52)、高齢者住宅等が1,952床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをややや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,762人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム42、軽費ホーム52、グループホーム46、サ高住53である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、555人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-31%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県南医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県南医療圏の総人口は、2005年485,651人が、2015年に481,691人と1%減少し、2025年の人口が464,271人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

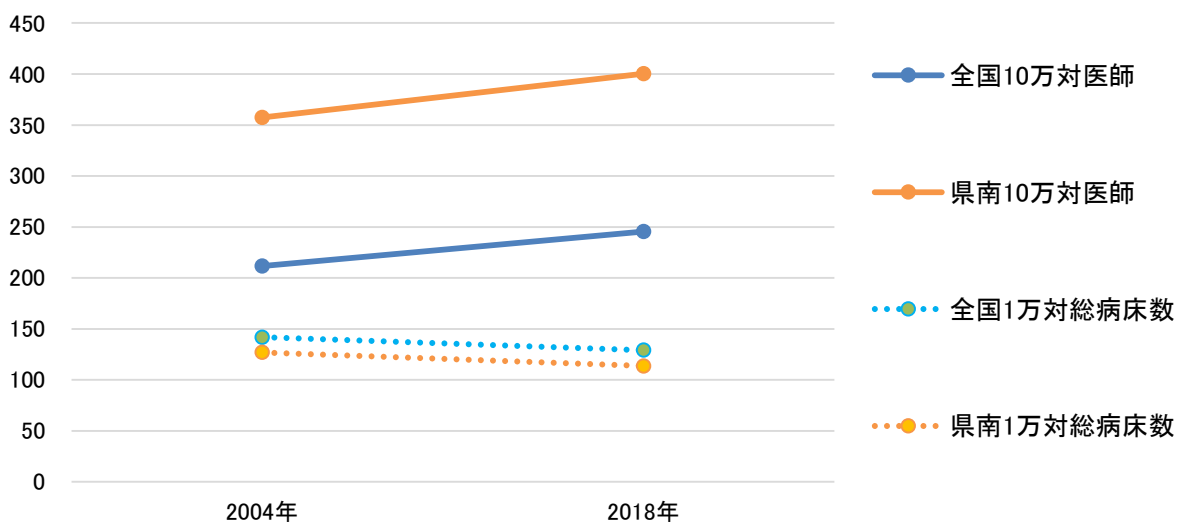
2004年の病院数が27(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2018年に22(人口10万人当たり4.6病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、14年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が324(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2018年に373(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、49診療所が増加した。

2004年の総病床数が6,163床(人口1万人当たり127(全国平均142)偏差値47)であったが、2018年に5,471床(人口1万人当たり114(全国平均129)偏差値47)と、692床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

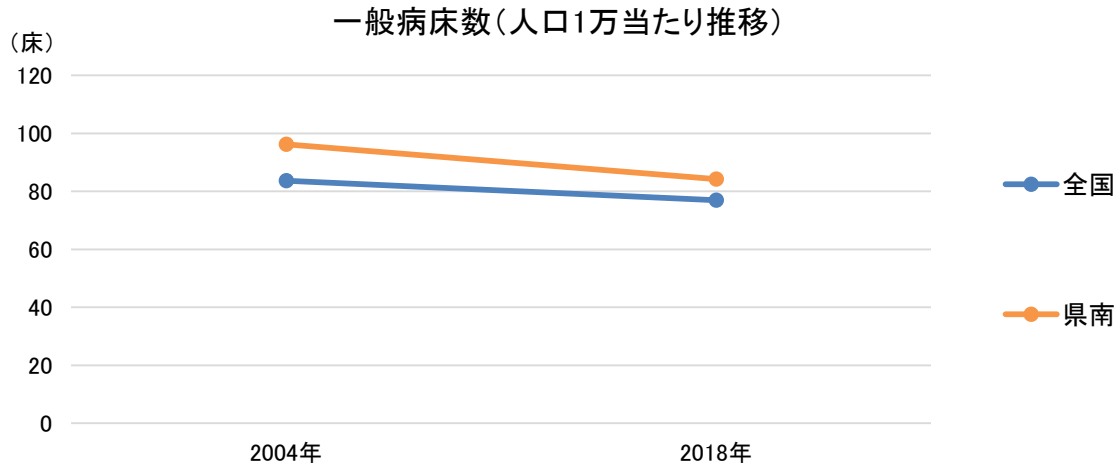
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,735人(人口10万人当たり357人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2018年に1,929人(人口10万人当たり400人(全国平均245人)偏差値67)と、194人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



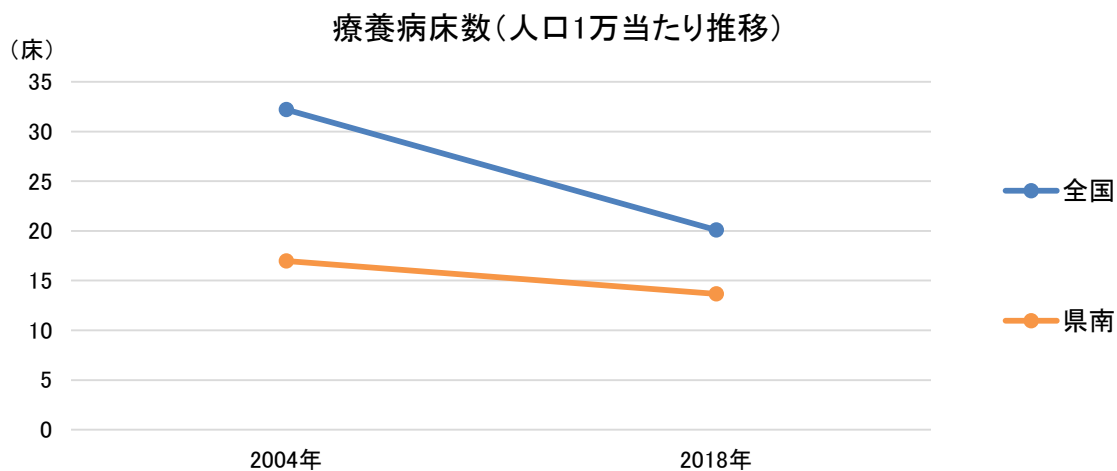
## 【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4,673床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2018年に4,054床(人口1万人当たり84(全国平均77)偏差値53)と、619床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



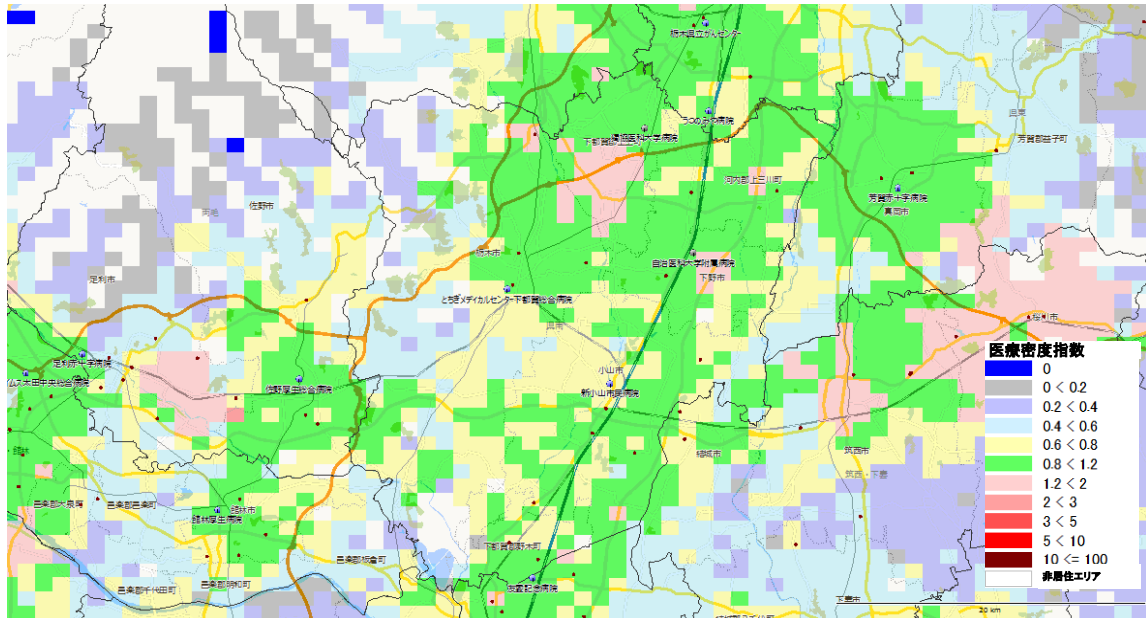
## 【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が698床(75歳以上1,000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2018年に750床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均20)偏差値44)と、52床の増加、率にして7%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



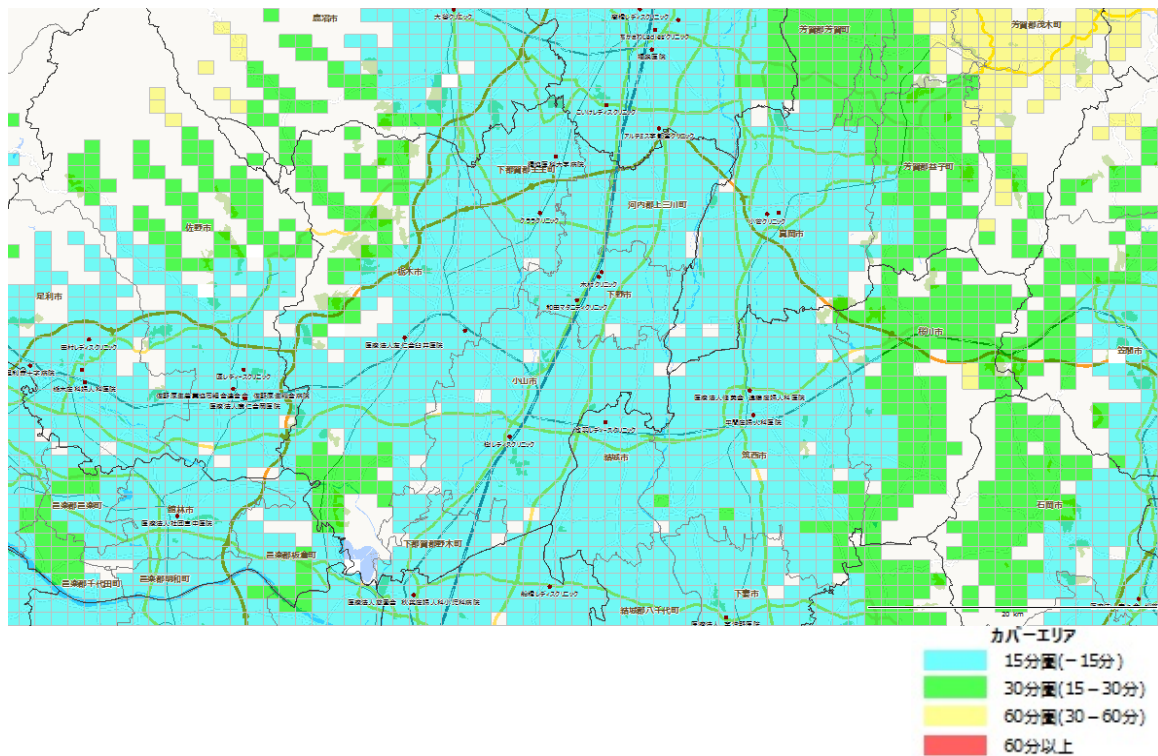
(県南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

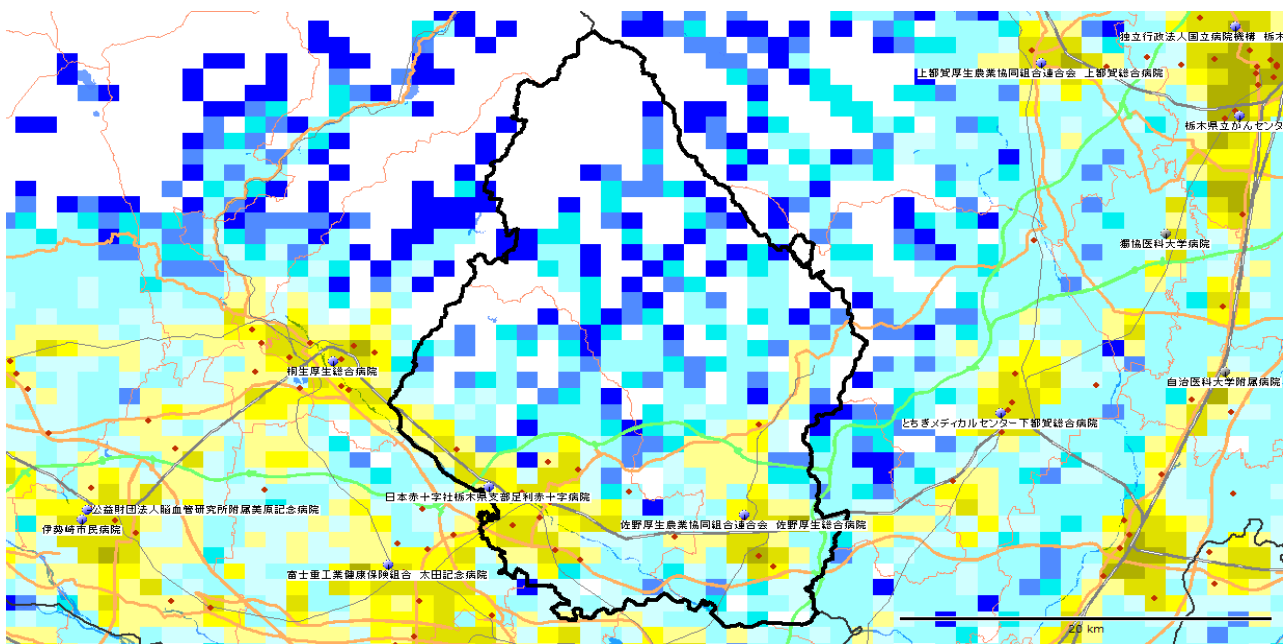


# 9-6. りょうもう 両毛医療圏

構成市区町村 [足利市](#) [佐野市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km<sup>2</sup>区画単位)



1km<sup>2</sup>区画 (1km<sup>2</sup>メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。  
 赤色系統は人口が多く (10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は  
 中間レベル (1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が  
 少ない (1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS Market  
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (両毛医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 両毛(足利市)は、総人口約268千人(2015年)、面積534km<sup>2</sup>、人口密度は503人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 両毛の総人口は2025年に248千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に210千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて48千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には46千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 両毛の一人当たり医療費(国保)は323千円(偏差値43)、介護給付費は240千円(偏差値46)であり、医療費は低く、介護給付費はやや低い。

### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 両毛の一人当たり急性期医療密度指数は0.99、一人当たり慢性期医療密度指数は1.1で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42(病院医師数41、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。両毛には、年間全身麻酔件数が2000例以上の足利赤十字病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の佐野厚生総合病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 両毛の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,553人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,222床(偏差値49)、高齢者住宅等が1,331床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,244人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム43、軽費ホーム55、グループホーム45、サ高住52である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値43と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、389人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (両毛医療圏) 2. 推移

### 【人口と医療需要】

両毛医療圏の総人口は、2005年283,682人が、2015年に268,371人と5%減少し、2025年の人口が247,797人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

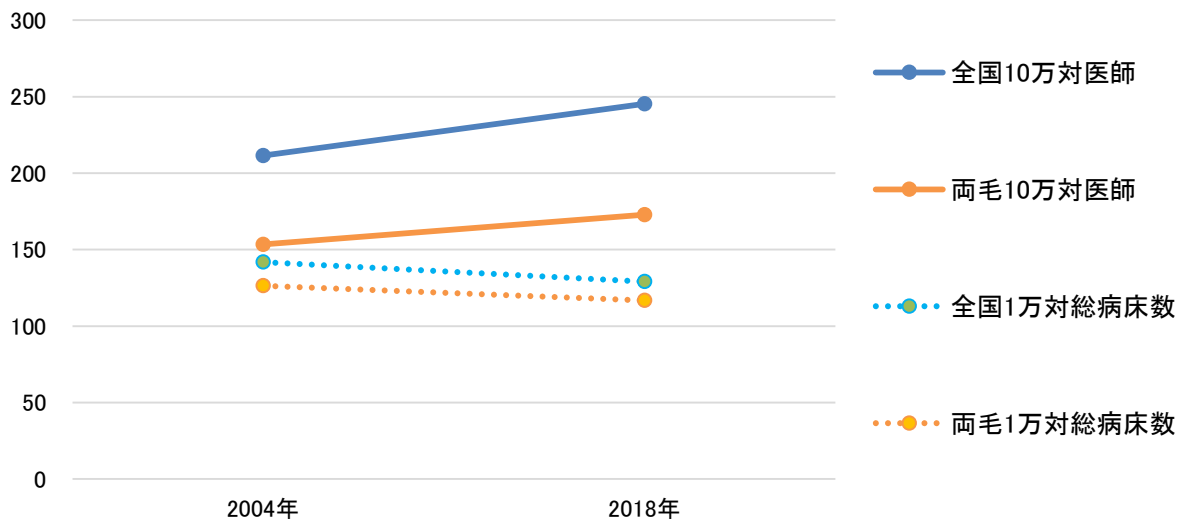
2004年の病院数が18(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2018年に16(人口10万人当たり6病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が198(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に206(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、8診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,586床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2018年に3,134床(人口1万人当たり117(全国平均129)偏差値48)と、452床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

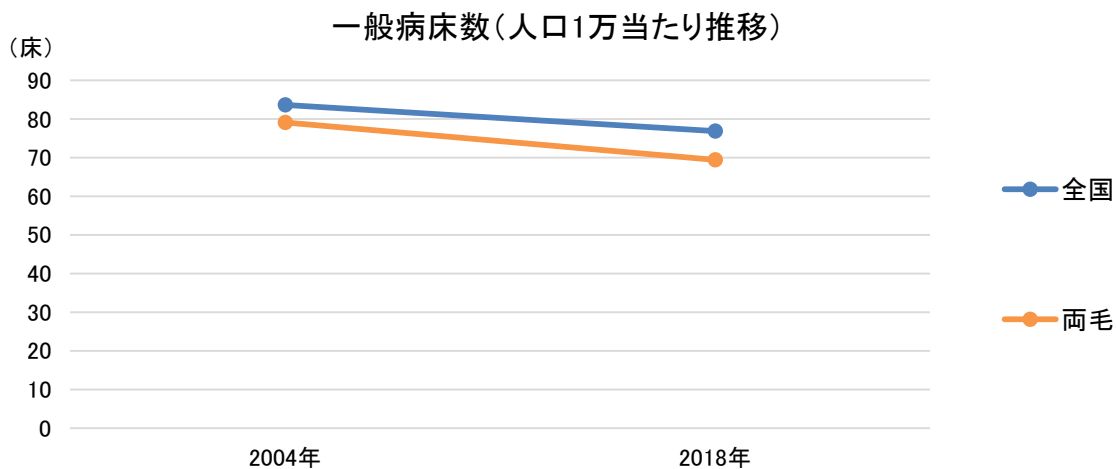
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が435人(人口10万人当たり153人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2018年に464人(人口10万人当たり173人(全国平均245人)偏差値42)と、29人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



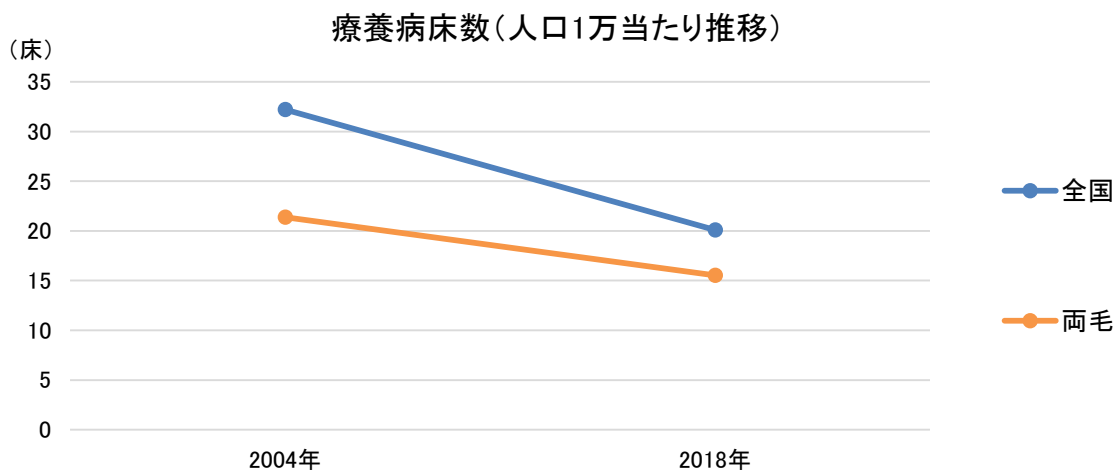
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,243床(人口1万人当たり79(全国平均84)偏差値48)であったが、2018年に1,863床(人口1万人当たり69(全国平均77)偏差値47)と、380床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



【療養病床の推移】

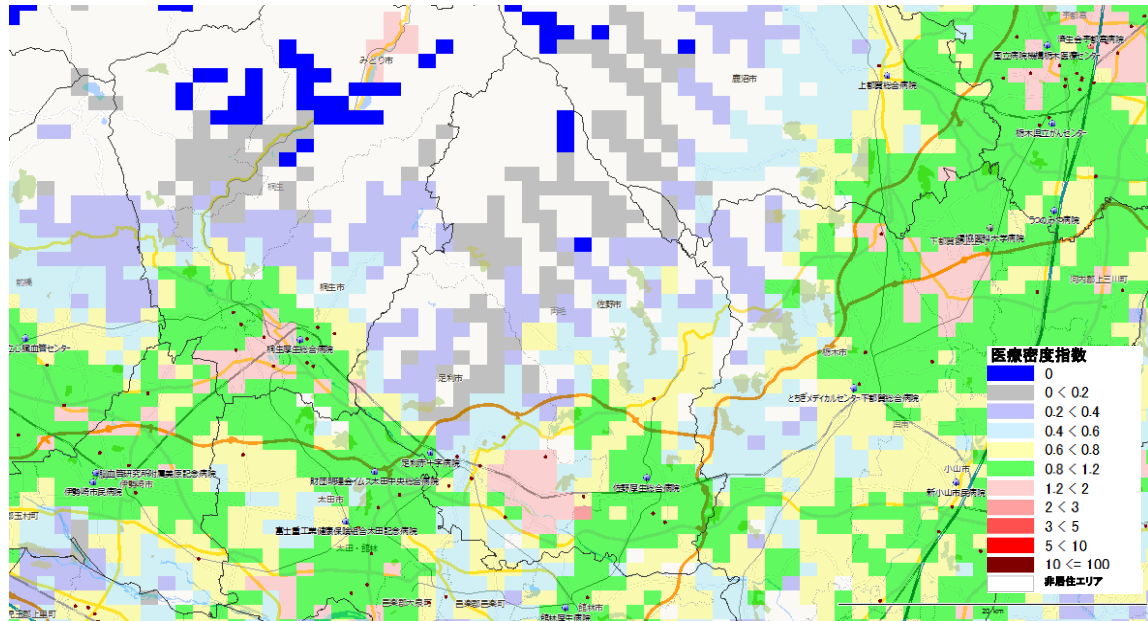
2004年の療養病床(病院+診療所)が615床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均32)偏差値44)であったが、2018年に578床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、37床の減少、率にして6%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。





(両毛医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表9-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表9-6-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km<sup>2</sup>メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関 (病院と有床診療所) への運転時間を計算し、1km<sup>2</sup>メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの (「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400) )

